Nissan Chemical
CORPORATION
未来のための、はじめてをつくる。

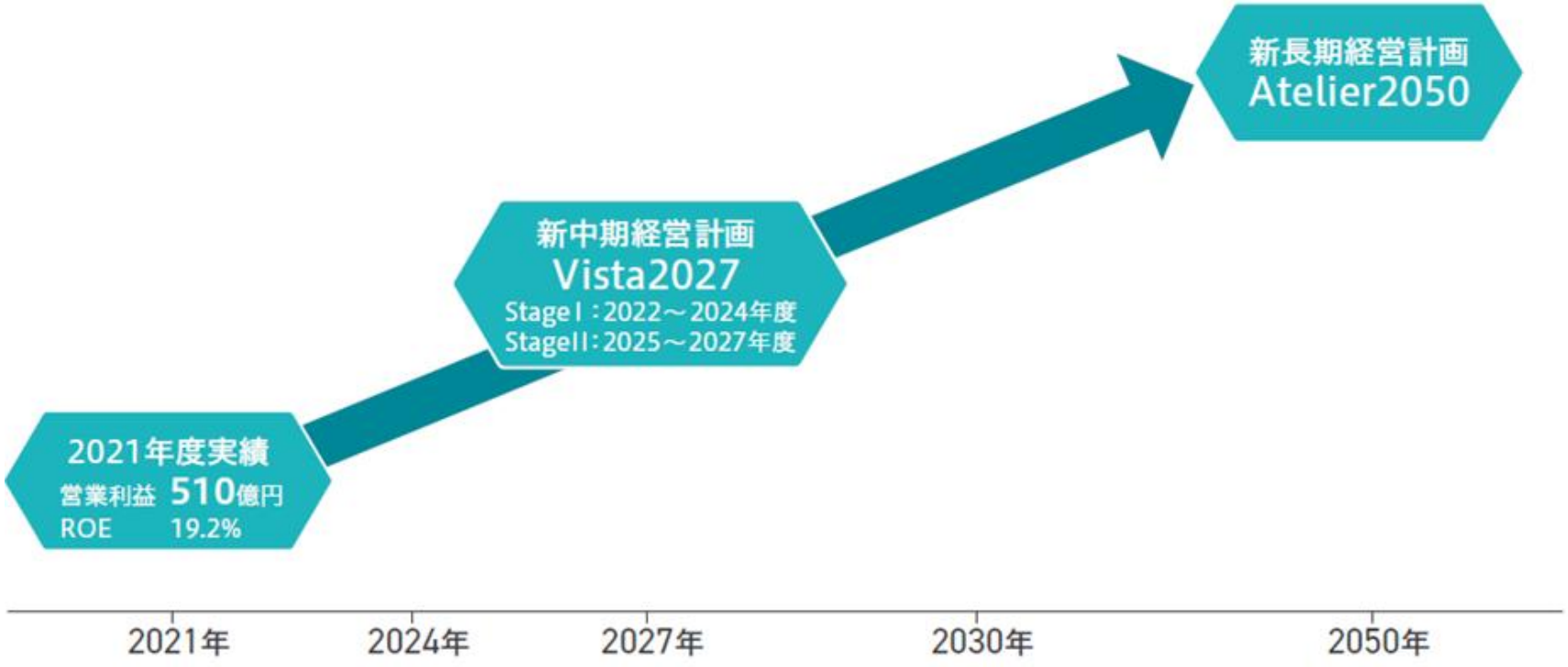
2024年3月期
決算説明会　Part1

説明者　八木晋介（代表取締役 取締役社長COO）

2024年5月13日

長期経営計画「Atelier2050」と中期経営計画「Vista2027」

2050年を見据えた社会課題・社会変化を議論し、
2050年のあるべき姿を描く「Atelier2050」を策定。
そして、バックキャストにより「Vista2027」を策定



長期経営計画「Atelier2050」
2050年のあるべき姿　事業領域

Nissan Chemical CORPORATION

既存のコア技術に加え、新技術を獲得し、3つの成長事業に関する新たな領域に進出
コア技術の深化と融合により各事業領域の成長を加速させ、社会課題解決に貢献する

社会課題の解決

地球環境の保全　気候変動の緩和　健康問題への対応
食料問題の解決　スマート社会の実現　生活の質の向上

事業

新たな領域への進出

① 情報通信
- 半導体材料
- ディスプレイ材料
- 光機能性材料
- センシングシステム（IoTセンサー材料）（生体模倣センサー）
- メタマテリアル材料

② ライフサイエンス
- 農薬
- 動物薬
- 生体材料
- 医薬品（低分子、核酸、ペプチド）
- マイクロバイオーム（農業・医療）（微生物資材）
- バイオスティミュラント

③ 環境エネルギー
- 2次・燃料電池材料
- 次世代太陽電池材料
- CCUS材料
- CO_2還元システム

④ 素材・サービス
- 工業薬品
- コロイダルシリカ
- 関係会社

成長事業　基盤事業

コア技術

既存技術：精密有機合成　機能性高分子設計　微粒子制御　生物評価　光制御

新技術：微生物制御　情報科学

中期経営計画「Vista2027」- 当社のあるべき姿と基本戦略 -

Nissan Chemical CORPORATION

2027年のあるべき姿

現有事業が業績を力強く牽引し、
事業領域の拡充に向け、
新たなコア技術を確実に修得している

サステナビリティに関わる取り組みが
組織的に進められ、
その関連情報を社内外に発信している

デジタル基盤の構築が進められ、
顧客・市場等の最新情報に
基づいて業務が進められている

基本戦略

事業領域の深掘りと
マーケティング力の向上

サステナブル経営の推進

価値創造・共創プロセスの強化

現有事業の
シェア・利益の拡大

中期経営計画「Vista2027」 基本戦略に基づく施策進捗
「事業領域の深掘りとマーケティング力の向上」

Nissan Chemical CORPORATION

新たなコア技術　微生物制御技術の育成

- 本格開発に向けたバイオ農薬の評価検討

デジタル技術を活用した研究開発の推進

- 研究所データサイエンティスト育成に向けたプログラムの推進
- 実テーマでのMI（マテリアルズインフォマティクス）検証継続と対象テーマの絞り込み

二次電池向け材料の開発

- 電気自動車向け二次電池の構成材料として当社製品が採用

中期経営計画「Vista2027」 基本戦略に基づく施策進捗
「サステナブル経営の推進」、「価値創造・共創プロセスの強化」

Nissan Chemical CORPORATION

ESG(Environment)に関わる取組み

- 気候変動に関わるシナリオ分析の深化(1.5℃/4℃シナリオにおける定量評価)と対外開示

ESG(Social)に関わる取組み

- 人的資本に関する戦略の立案、指標・目標の設定と対外開示

ESG(Governance)に関わる取組み

- 2023年6月に新たな女性社外取締役が就任(女性取締役は計2名に)
- 外部機関による取締役会実効性評価の実施

DXに関わる取組み

- 工場DX基盤の整備と国内5工場での一部データの活用開始

中期経営計画「Vista2027」 基本戦略に基づく施策進捗
「現有事業のシェア・利益の拡大」

Nissan Chemical CORPORATION

化学品

- 富山工場　半導体用途で更に伸長が見込まれる需要の取込みに向けた高純度硫酸 製造設備の増強工事が順調に進捗
- VOC※1　食品工場排水処理（油脂分解）向けで複数社で採用済、油脂分解用途以外への提案検討も開始

※1　VOC：ビーナスオイルクリーン

機能性材料　ディスプレイ

- 次世代ディスプレイ（QD-EL、μLED）向け材料の開発

機能性材料　半導体

- NCK　半導体新工場が完工、顧客承認取得に向けた生産を開始
- 高NA化に向けたEUVリソグラフィ材料開発の推進

中期経営計画「Vista2027」 基本戦略に基づく施策進捗
「現有事業のシェア・利益の拡大」

Nissan Chemical CORPORATION

機能性材料　無機コロイド

- CCS材の開発　コンソーシアムに参加

農業化学品

- NBR　ライメイ(殺菌剤)およびグレーシア(殺虫剤)の原体の製造、出荷を開始
- 小野田工場　NC-653(除草剤)の原体製造プラントが完工、試験製造を開始

ヘルスケア

- 核酸医薬　三和化学研究所との核酸創薬の戦略的提携契約の締結
- ファインテック　当社ジェネリック原薬製造に向け協業先と技術協力契約を締結

2024年度予想と中期経営計画Stage Ⅰ（2022年5月発表）の差異

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

		2024年度 中計(A)	2024年度 予想(B)	差異 (B)-(A)
化学品	売上高	376	377	+1
	営業利益	35	6	-29
機能性材料	売上高	1,029	919	-110
	営業利益	321	244	-77
農業化学品	売上高	778	849	+71
	営業利益	217	241	+24
ヘルスケア	売上高	72	64	-8
	営業利益	21	23	+2
卸売・その他・調整額	売上高	295	132	-163
	営業利益	-9	-14	-5
合計	売上高	2,550	2,341	-209
	営業利益	585	500	-85

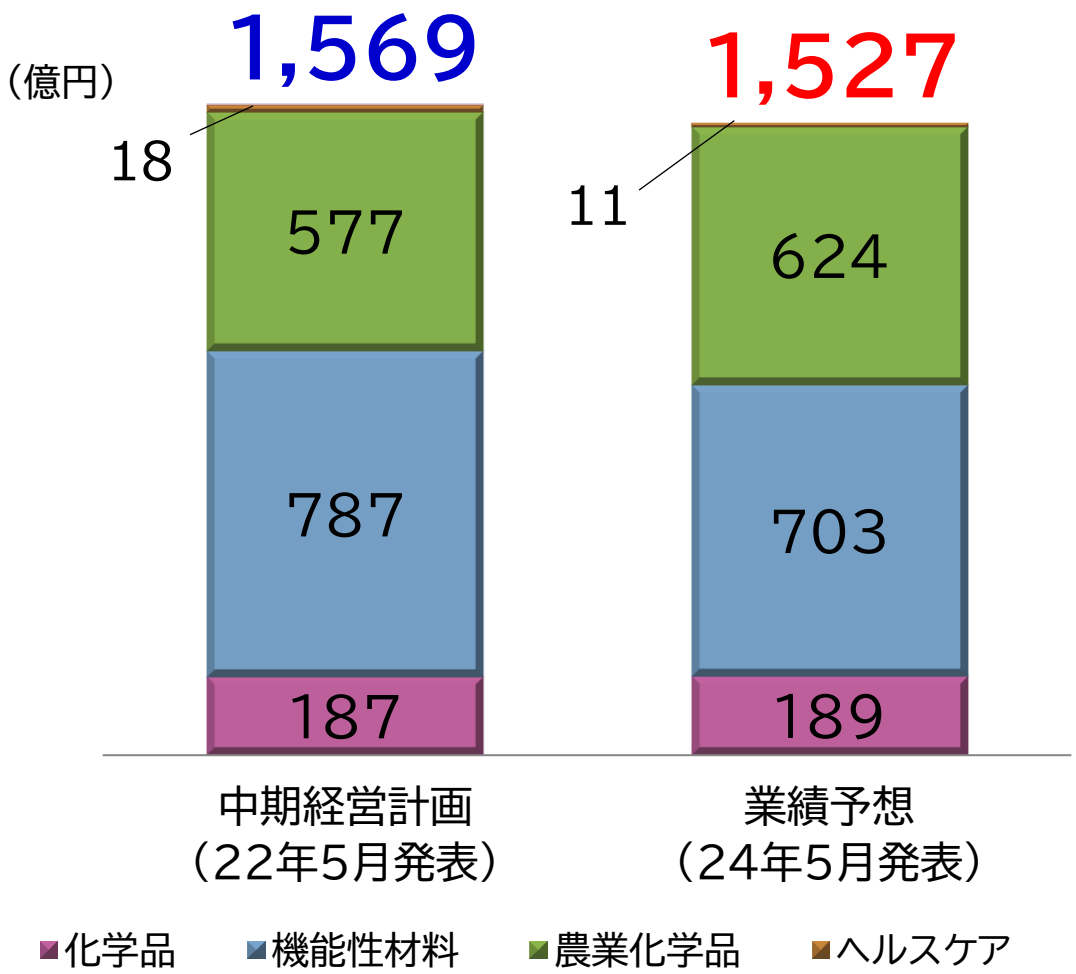
主要成長現有製品 24年度売上高　中期経営計画と業績予想

Nissan Chemical CORPORATION

主要成長現有製品※の24年度売上高

※中期経営計画(22年5月発表)で
24年度において21年度比増収額5億円以上と想定した現有製品

中計1,569億円
業績予想1,527億円



売上高　中計比-42億円

ヘルスケア -7億円
マキサカルシトールが計画比大幅下ぶれ

農業化学品＋47億円※1
ライメイで計画比大幅下ぶれも、グレーシア、フルララネルが大幅上ぶれ

機能性材料 -84億円
半導体で計画比-76億円

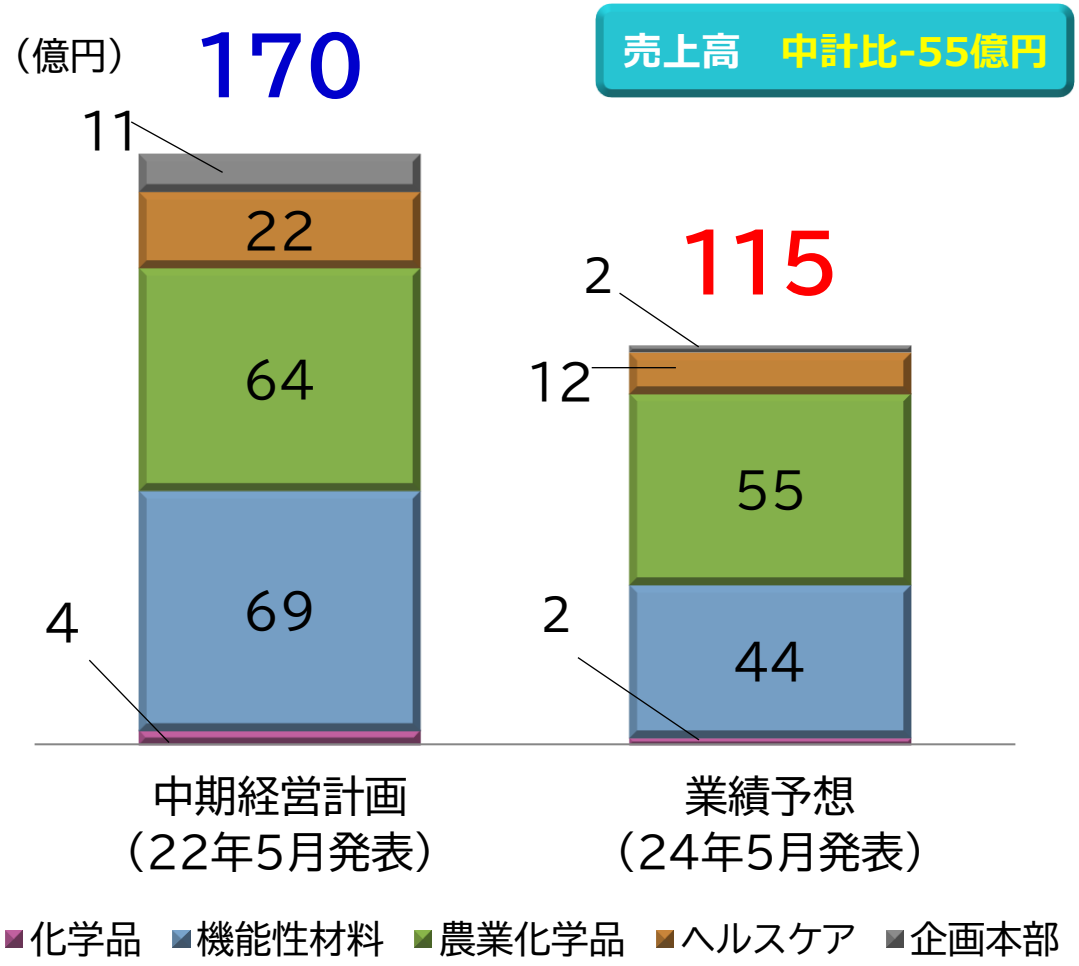
化学品+2億円
テピック電材が計画比大幅下ぶれも、尿素、硫酸系製品等で上ぶれ

※1　農業化学品は値引き前の金額

新製品　24年度売上高　中期経営計画と業績予想

Nissan Chemical CORPORATION

新製品の24年度売上高　中計170億円
業績予想115億円



企画本部 -9億円
放熱材、二次電池材で上ぶれも、RDL材、配線補助剤等で未達

ヘルスケア -10億円
FT新規受託、生体材料等で計画未達

農業化学品 -9億円
ダイセン計画比上ぶれも、NC-653計画遅延、クィンテック販売計画未達等が影響

機能性 -25億円
EUV材料は計画比大幅上ぶれもOLED材料、光VA等の未達が影響

化学品 -2億円
全新製品（テピック、ファインオキソコール）で計画未達

中期経営計画「Vista2027」StageⅡ（25年度～27年度）に向けて

Nissan Chemical CORPORATION

2023年度より、以下の事項を主要検討項目とし、
StageⅡ（25～27年度）の策定を進めている。

（1）新製品・新事業創出の加速化

1）開発テーマの選択と集中の徹底とその仕組みづくり

2）M&A、技術導入、他社との協業の推進

（2）現有事業の拡大と収益力強化

1）化学品事業のビジネスモデルの再検討と構造改革

2）事業領域深耕によるコア成長事業の伸長

Nissan Chemical
CORPORATION
未来のための、はじめてをつくる。

2024年3月期
決算説明会　Part2

説明者　　大門秀樹（取締役専務執行役員CFO）

2024年5月13日

Contents

01	2023年度通期　連結決算報告	P3
02	2024年度通期　業績予想	P8
03	セグメント概況	P16
04	2024年度中期経営計画との比較	P48
05	ESGトピックス	P51
06	参考資料	P56

Nissan Chemical CORPORATION

Contents

01	2023年度通期 連結決算報告	P3
02	2024年度通期 業績予想	P8
03	セグメント概況	P16
04	2024年度中期経営計画との比較	P48
05	ESGトピックス	P51
06	参考資料	P56

2023年度通期決算サマリー

Nissan Chemical CORPORATION

下期	前年同期比

- 売上高は、24億円増収(+2%)
- 営業利益は、横ばい
- 純利益は、11億円増益(+7%)

通期	前年同期比

- 売上高は、14億円減収(-1%)
- 営業利益は、41億円減益(-8%)
- 純利益は、31億円減益(-7%)

通期	業績予想比 (2023年11月発表予想との比較)

- 売上高は、8億円下ぶれ
- 営業利益は、4億円下ぶれ
- 純利益は、4億円下ぶれ

株主還元

- 通期配当 164円(前年比据え置き)
- 自己株式取得 100億円完了(1.7百万株)
- 配当性向 60.1%(中計目標55%)、総還元性向 86.2%(同75%)

2023年度通期決算サマリー　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

	2022年度 実績					2023年度 実績					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	1,095	497	689	1,186	2,281	1,057	496	714	1,210	2,267	-38 (-4%)	-1 (0%)	+25 (+4%)	+24 (+2%)	-14 (-1%)
営業利益	282	106	135	241	523	241	93	148	241	482	-41 (-14%)	-13 (-12%)	+13 (+10%)	0 (0%)	-41 (-8%)
営業外損益	38	-13	10	-3	35	21	-5	18	13	34	-17	+8	+8	+16	-1
為替差損益	30	-21	4	-17	13	19	-8	11	3	22	-11	+13	+7	+20	+9
経常利益	320	93	145	238	558	262	88	166	254	516	-58 (-18%)	-5 (-5%)	+21 (+15%)	+16 (+7%)	-42 (-7%)
特別損益	0	0	8	8	8	6	0	-4	-4	2	+6	0	-12	-12	-6
純利益※1	237	71	103	174	411	195	65	120	185	380	-42 (-18%)	-6 (-8%)	+17 (+17%)	+11 (+7%)	-31 (-7%)
EBITDA※2	333	135	165	300	633	300	129	191	320	620	-33	-6	+26	+20	-13
EPS（円/株）	167.74	50.25	73.37	123.62	291.36	139.55	46.47	86.80	133.27	272.82	-28.19	-3.78	+13.43	+9.65	-18.54
配当（円/株）	70	-	-	94	164	70	-	-	94	164	0	-	-	0	0
配当性向（%）	-	-	-	-	56.3%	-	-	-	-	60.1%	-	-	-	-	+3.8pt
配当総額	99	-	-	132	231	98	-	-	130	228	-1	-	-	-2	-3
売上高営業利益率	25.7%	21.4%	19.6%	20.4%	22.9%	22.8%	18.8%	20.7%	19.9%	21.3%	-2.9pt	-2.6pt	+1.1pt	-0.5pt	-1.6pt
ROE	-	-	-	-	19.4%	-	-	-	-	17.1%	-	-	-	-	-2.3pt
為替レート（円/ドル）	134	141	132	137	136	141	148	149	148	145	-	-	-	-	-
原油（JCC）（ドル/bbl）※3	112	100	87	94	103	83	91	84	88	86	-	-	-	-	-

※1　純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す　※2　EBITDA ＝ 営業利益 ＋ 減価償却費　※3　実績は財務省貿易統計ベース

2023年度決算通期サマリー　前回業績予想比

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

	2023年度　予想（2023年11月発表）			2023年度　実績			業績予想比
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	下期・年間
売上高	1,057	1,218	2,275	1,057	1,210	2,267	-8
営業利益	241	245	486	241	241	482	-4
営業外損益	21	6	27	21	13	34	+7
為替差損益	19	0	19	19	3	22	+3
経常利益	262	251	513	262	254	516	+3
特別損益	6	6	12	6	-4	2	-10
純利益※1	195	189	384	195	185	380	-4
EBITDA※2	300	330	630	300	320	620	-10
EPS（円/株）※3	139.55	136.21	275.76	139.55	133.27	272.82	-2.94
配当（円/株）	70	94	164	70	94	164	0
配当性向（%）※3	-	-	59.5%	-	-	60.1%	+0.6pt
配当総額	98	131	229	98	130	228	-1
売上高営業利益率	22.8%	20.1%	21.4%	22.8%	19.9%	21.3%	-
ROE※3	-	-	17.3%	-	-	17.1%	-0.2pt
為替レート（円/ドル）	141	142	142	141	148	145	-
原油（JCC）（ドル/bbl）※4	83	88	86	83	88	86	-

※1　純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す　　※2　EBITDA ＝ 営業利益 ＋ 減価償却費

※3　2023年度予想のEPS、配当性向、ROEは自己株式の取得（100億円、2024年2月完了）を反映　　※4　実績は財務省貿易統計ベース

営業利益の増減分析

Nissan Chemical CORPORATION

下期

2023年度 実績	2022年度 実績	前年同期比	前回予想(2023年11月発表)	前回業績予想比
241億円	241億円	0億円	245億円	-4億円

化学品	前年同期比 -2億円	メラミン(終売)・環境化学品の減収、能登半島地震影響により減益
	業績予想比 8億円下ぶれ	環境化学品・テピックの下ぶれ、能登半島地震影響により利益下ぶれ
機能性材料	前年同期比 -1億円	ディスプレイ・半導体増収も、固定費等26億円増加(うち半導体16億円)※1により機能性合計減益
	業績予想比 8億円下ぶれ	半導体上ぶれも、ディスプレイ下ぶれ・固定費等7億円上ぶれ(減益要因)により機能性合計利益下ぶれ
農業化学品	前年同期比 +8億円	固定費等7億円増加も、フルララネル・ラウンドアップ・グレーシア増収により増益
	業績予想比 1億円上ぶれ	グレーシア・ライメイ下ぶれ、固定費等3億円上ぶれ(減益要因)も、フルララネル上ぶれにより利益上ぶれ
ヘルスケア	前年同期比 -5億円	ファインテック減収
	業績予想比 2億円上ぶれ	リバロ・ファインテック上ぶれ

通期

2023年度 実績	2022年度 実績	前年同期比
482億円	523億円	-41億円(-8%) (うち半導体 -44億円)

化学品	前年同期比 -14億円	メラミン(終売)・テピックの減収、能登半島地震影響により減益
機能性材料	前年同期比 -29億円	ディスプレイ増収も、半導体減収・固定費等41億円増加(うち半導体30億円)により機能性合計減益
農業化学品	前年同期比 +3億円	ライメイ減収・固定費等17億円増加も、グレーシア・フルララネル増収により増益
ヘルスケア	前年同期比 -2億円	ファインテックの減収

※1 固定費等には在庫変動影響を含む

Contents

01	2023年度通期 連結決算報告	P3
02	2024年度通期 業績予想	P8
03	セグメント概況	P16
04	2024年度中期経営計画との比較	P48
05	ESGトピックス	P51
06	参考資料	P56

2024年度通期　業績予想サマリー

Nissan Chemical CORPORATION

2024年度通期業績予想

上期	前年同期比

- 売上高は39億円増収(+4%)
- 営業利益は1億円減益(-0%)
- 純利益は14億円減益(-7%)（為替差損益(営業外損益)19億円減益※1)

通期	前年同期比

- 売上高は74億円増収(+3%)
- 営業利益は18億円増益(+4%)
- 純利益は4億円増益(+1%)（為替差損益(営業外損益)22億円減益)
- ROE予想は16.5%

※1　p12参照

株主還元予想

- 中計目標に基づき、総還元性向目標は75%、配当性向目標は55%
- 自己株式取得50億円を発表

配当	通期164円（中間70円、期末94円)、配当性向58.9%　※前年比: 据え置き
自己株式取得	50億円（2024年5月13日発表分、2024年5～7月取得）　※2023年度実績　100億円、1.7百万株
総還元性向目標	75%（配当164円と自己株式取得50億円に基づけば71.8%）

2024年度業績予想サマリー　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

	2023年度 実績					2024年度 業績予想					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
売上高	549	508	1,057	1,210	2,267	562	534	1,096	1,245	2,341	+13 (+2%)	+26 (+5%)	+39 (+4%)	+35 (+3%)	+74 (+3%)
営業利益	150	91	241	241	482	119	121	240	260	500	-31 (-21%)	+30 (+33%)	-1 (0%)	+19 (+8%)	+18 (+4%)
営業外損益	20	1	21	13	34	3	-10	-7	12	5	-17	-11	-28	-1	-29
為替差損益	15	4	19	3	22	0	0	0	0	0	-15	-4	-19	-3	-22
経常利益	170	92	262	254	516	122	111	233	272	505	-48 (-28%)	+19 (+21%)	-29 (-11%)	+18 (+7%)	-11 (-2%)
特別損益	0	6	6	-4	2	0	7	7	7	14	0	+1	+1	+11	+12
純利益※1	122	73	195	185	380	93	88	181	203	384	-29 (-24%)	+15 (+21%)	-14 (-7%)	+18 (+10%)	+4 (+1%)
EBITDA※2	178	122	300	320	620	-	-	313	343	656	-	-	+13	+23	+36
EPS（円/株）	87.40	52.15	139.55	133.27	272.82	-	-	131.15	147.52	278.67	-	-	-8.40	+14.25	+5.85
配当（円/株）	-	-	70	94	164	-	-	70	94	164	-	-	0	0	0
配当性向（%）	-	-	-	-	60.1%	-	-	-	-	58.9%	-	-	-	-	-1.2pt
配当総額	-	-	98	130	228	-	-	97	130	227	-	-	-1	0	-1
売上高営業利益率	27.3%	17.9%	22.8%	19.9%	21.3%	21.2%	22.7%	21.9%	20.9%	21.4%	-6.1pt	+4.8pt	-0.9pt	+1.0pt	+0.1pt
ROE	-	-	-	-	17.1%	-	-	-	-	16.5%	-	-	-	-	-0.6pt
為替レート（円/ドル）	137	145	141	148	145	145	145	145	140	143	-	-	-	-	-
原油（JCC）（ドル/bbl）※3	83	83	83	88	86	82	82	82	82	82	-	-	-	-	-

※1　純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す　　※2　EBITDA ＝ 営業利益 ＋ 減価償却費　　※3　実績は財務省貿易統計ベース

営業利益の増減分析

Nissan Chemical CORPORATION

上期

2024年度 予想	2023年度 実績	前年同期比
240億円	241億円	-1億円(-0%)

化学品	前年同期比 -1億円	高純度硫酸の増収も、固定費等増加※1により減益
機能性材料	前年同期比 +12億円	固定費等増加も、半導体増収により機能性合計増益
農業化学品	前年同期比 +8億円	固定費等増加も、フルララネル・グレーシア・アルテア増収により増益
ヘルスケア	前年同期比 -9億円	リバロ減収・固定費等増加により減益

通期

2024年度 予想	2023年度 実績	前年同期比
500億円	482億円	+18億円(+4%)

化学品	前年同期比 +6億円	高純度硫酸・環境化学品の増収、能登半島地震影響の反動増により増益
機能性材料	前年同期比 +19億円	固定費等28億円増加(うち半導体22億円)も、半導体・ディスプレイ増収により機能性合計増益
農業化学品	前年同期比 +7億円	固定費等25億円増加も、グレーシア・フルララネル・アルテア増収により増益
ヘルスケア	前年同期比 -5億円	ファインテック増収も、リバロ減収・固定費等増加により減益

※1 固定費等には在庫変動影響を含む

営業外損益・特別損益の内訳

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

	2022年度 実績			2023年度 実績			前年同期比			2023年度予想※4	2024年度 予想		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	年間	上期	下期	年間
受取利息・配当金	4.5	10.8	15.3	4.4	12.8	17.2	-0.1	+2.0	+1.9	15.5	4.1	13.0	17.1
持分法投資損益	6.2	8.7	14.9	4.0	1.4	5.4	-2.2	-7.3	-9.5	6.8	1.9	6.8	8.7
為替差損益※1	30.2	-17.2	13.0	18.8	3.3	22.1	-11.4	+20.5	+9.1	18.8	0.0	0.0	0.0
支払利息	-0.9	-1.6	-2.5	-2.6	-2.7	-5.3	-1.7	-1.1	-2.8	-6.6	-4.0	-3.9	-7.9
固定資産処分損他	-1.7	-3.9	-5.6	-3.6	-1.5	-5.1	-1.9	+2.4	+0.5	-7.9	-8.2	-5.1	-13.3
営業外損益	38.3	-3.2	35.1	21.0	13.3	34.3	-17.3	+16.5	-0.8	26.6	-6.2	10.8	4.6
特別利益	0.0	14.6	14.6	6.0	7.3	13.3	+6.0	-7.3	-1.3	12.0	7.0	7.0	14.0
特別損失	0.0	-6.5	-6.5	0.0	-11.8	-11.8	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
特別損益※2･3･4･5	0.0	8.1	8.1	6.0	-4.5	1.5	+6.0	-12.6	-6.6	12.0	7.0	7.0	14.0

※1 為替レート(円/ﾄﾞﾙ): 22/3末 122.41、22/9末 144.81、23/3末 133.54、23/9末 149.58、24/3末 151.40

※2 2022年度年間実績:
特別利益＋14.6億円(有価証券売却益14.6億円)
特別損失－6.5億円(出資先(非上場会社)にかかる保有株式減損6.5億円)

※3 2023年度年間実績:
特別利益＋13.3億円(有価証券売却益13.3億円)
特別損失－11.8億円(減損損失8.2億円、出資先(非上場会社)にかかる保有株式減損3.5億円)

※4 2023年度年間予想(2023年11月発表):
特別利益＋12.0億円(有価証券売却益12.0億円)

※5 2024年度年間予想:
特別利益＋14.0億円(有価証券売却益14.0億円)

キャッシュ・フロー

Nissan Chemical CORPORATION

2023年度のフリー・キャッシュ・フローは150億円となり、前年同期比5億円の減少

（億円）

	2022年度 実績	2023年度 実績	前年同期比	2023年度 予想（2023年11月発表）	2024年度 予想
営業活動によるキャッシュ・フロー	**352**	**337**	**-15**	**351**	**495**
税金等調整前純利益	566	518	-48	525	519
特別損益（マイナスは益）	-8	-2	+6	-12	-14
減価償却費※1	110	138	+28	144	161
法人税等の支払	-154	-159	-5	-160	-124
運転資金増減他	-162	-158	+4	-146	-47
投資活動によるキャッシュ・フロー	**-197**	**-187**	**+10**	**-199**	**-203**
設備投資※2	-194	-202	-8	-225	-221
投資有価証券購入・売却	20	16	-4	16	19
その他	-23	-1	+22	10	-1
フリー・キャッシュ・フロー	**155**	**150**	**-5**	**152**	**292**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**-250**	**-221**	**+29**	**-188**	**-245**
株主還元（配当）	-201	-230	-29	-290	-292
株主還元（自己株式取得）	-90	-100	-10		
有利子負債増減	42	109	+67	102	47
その他	-1	0	+1	0	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	2	-11	0	0
現金及び現金同等物の増減額	-82	-69	+13	-36	47
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	31	0	-31	0	0
現金及び現金同等物の残高	296	227	-69	260	274

※1 のれん償却費を含む　※2 無形資産を含む

貸借対照表

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

	2023年3月末	2024年3月末	前期末比
流動資産	1,894	2,020	+126
現預金	296	227	-69
売上債権	827	888	+61
たな卸資産	647	782	+135
その他	124	123	-1
固定資産	1,093	1,215	+122
有形固定資産	647	774	+127
無形固定資産	115	107	-8
投資有価証券	273	261	-12
その他	58	73	+15
資産合計	2,987	3,235	+248

	2023年3月末	2024年3月末	前期末比
負債	772	926	+154
買入債務	199	204	+5
借入金	273	410	+137
その他	300	312	+12
純資産	2,215	2,309	+94
株主資本※1	2,088	2,139	+51
その他有価証券評価差額金	77	83	+6
為替換算調整勘定	17	42	+25
非支配株主持分	31	34	+3
退職給付に係る調整累計額	2	11	+9
負債純資産合計	2,987	3,235	+248

自己資本比率	73.1%	70.3%
D/Eレシオ※2	-1.1%	8.5%

投資有価証券（固定資産）の内訳

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末	前期末比	参考 2018年3月末
上場株式※3 （単体ベース保有銘柄数）	189 (30)	169 (26)	171 (24)	+2 (-2)	300 (55)
非上場株式	26	24	23	-1	17
関係会社株式	87	80	67	-13	68
合計	302	273	261	-12	385
純資産に占める政策保有株式の割合※4	9.5%	7.9%	7.7%		17.0%

※1 株主資本増減 +51 ＝ 純利益380 - 配当その他329　※2 D/Eレシオ ＝（借入金 - 現預金）/ 株主資本
※3 23/3末 169 ＋取得0 ＋ 売却･評価差額2 ＝24/3末 171　※4 政策保有株式割合 ＝ 政策保有株式（単体ベース、上場株＋非上場株）/ 純資産（連結ベース）

セグメント別　設備投資額・減価償却費・研究開発費

Nissan Chemical CORPORATION

設備投資及び減価償却費は、コア成長事業における製造能力増強（主に海外）により近年増加。
研究開発費は、2020-21年度にコロナによる出張活動縮小などで減少したものの、
2023年度以降は回復基調。

（億円）

	設備投資※1					減価償却※2					研究開発費				
	2020	2021	2022	2023	2024 予想	2020	2021	2022	2023	2024 予想	2020	2021	2022	2023	2024 予想
化学品※3	33	43	28	46	59	22	25	25	27	31	3	3	3	3	3
機能性材料※4	30	54	90	91	65	45	39	46	60	66	70	70	76	82	84
（うち、NCK）※4	2	13	50	57	3	7	5	7	23	30	5	5	5	8	6
農業化学品※5	64	17	59	51	54	26	27	28	34	41	44	42	43	43	47
ヘルスケア※6	3	7	5	5	7	5	4	4	4	4	24	6	4	4	5
卸売	2	0	1	0	8	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0
その他	11	3	11	9	28	5	6	7	12	13	24	39	42	41	43
合計	143	124	194	202	221	104	102	110	138	156	165	160	168	173	182

※1 設備投資額：キャッシュ・フローベース

※2 減価償却法

国内　ディスプレイ材料・半導体材料: 4年定率（初年度50%を償却）、その他: 8年定率（初年度25%を償却）

海外　NCK: 6年定率（初年度33%を償却）、NBR: 10年定額

※3 設備投資　2024年 富山工場 製造設備（9億円）を含む

※4 設備投資　2022年 NCK半導体新工場（46億円）、2023年 NCK半導体新工場（47億円）を含む

※5 設備投資　2020年 ダイセン買収（54億円）、2022年 NBR 第1期工事（43億円）、2023年 小野田工場 製造設備（26億円）、2024年予想 小野田工場 製造設備（19億円）を含む

※6 2022年4月に組織改定を実施（p67参照）

設備投資：2020-21数字は旧医薬品セグメント

減価償却・研究開発費：2020数字は旧医薬品セグメント。2021はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み

Contents

01	2023年度通期 連結決算報告	P3
02	2024年度通期 業績予想	P8
03	セグメント概況	P16
04	2024年度中期経営計画との比較	P48
05	ESGトピックス	P51
06	参考資料	P56

セグメント別　2023年度通期決算　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

		2022年度 実績					2023年度 実績					前年同期比				
		上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
化学品	売上高	198	101	91	192	390	179	96	81	177	356	-19 (-10%)	-5 (-4%)	-10 (-13%)	-15 (-8%)	-34 (-9%)
	営業利益	11	4	-1	3	14	-1	4	-3	1	0	-12 (-)	0 (-14%)	-2 (-)	-2 (-58%)	-14 (-96%)
機能性材料	売上高	420	206	200	406	826	405	214	227	441	846	-15 (-4%)	+8 (+4%)	+27 (+13%)	+35 (+8%)	+20 (+2%)
	営業利益	139	69	46	115	254	111	63	51	114	225	-28 (-20%)	-6 (-10%)	+5 (+10%)	-1 (-2%)	-29 (-11%)
農業化学品	売上高	357	131	328	459	816	353	132	336	468	821	-4 (-1%)	+1 (+1%)	+8 (+3%)	+9 (+2%)	+5 (+1%)
	営業利益	121	31	79	110	231	116	29	89	118	234	-5 (-4%)	-2 (-8%)	+10 (+12%)	+8 (+6%)	+3 (+1%)
ヘルスケア	売上高	32	16	19	35	67	35	13	15	28	63	+3 (+9%)	-3 (-19%)	-4 (-20%)	-7 (-20%)	-4 (-6%)
	営業利益	15	6	9	15	30	18	5	5	10	28	+3 (+24%)	-1 (-29%)	-4 (-38%)	-5 (-34%)	-2 (-6%)
卸売・その他・調整額	売上高	88	43	51	94	182	85	41	55	96	181	-3	-2	+4	+2	-1
	営業利益	-4	-4	2	-2	-6	-3	-8	6	-2	-5	+1	-4	+4	0	+1
合計	売上高	1,095	497	689	1,186	2,281	1,057	496	714	1,210	2,267	-38 (-4%)	-1 (0%)	+25 (+4%)	+24 (+2%)	-14 (-1%)
	営業利益	282	106	135	241	523	241	93	148	241	482	-41 (-14%)	-13 (-12%)	+13 (+10%)	0 (0%)	-41 (-8%)

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む
※ 卸売: 日星産業、その他: 日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・日本肥糧ほか、調整額: 企画本部ほか(内訳はp64,p65参照)
※ 企画本部の2022年度実績、2023年度実績の売上高・営業利益はp49参照

セグメント別　2023年度通期決算　前回業績予想比

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

		2023年度 予想（2023年11月発表）					2023年度 実績					業績予想比		
		上期実績	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	3Q	4Q	下期・年間
化学品	売上高	179	105	102	207	386	179	96	81	177	356	-9	-21	-30
	営業利益	-1	4	5	9	8	-1	4	-3	1	0	0	-8	-8
機能性材料	売上高	405	212	228	440	845	405	214	227	441	846	+2	-1	+1
	営業利益	111	58	64	122	233	111	63	51	114	225	+5	-13	-8
農業化学品	売上高	353	139	348	487	840	353	132	336	468	821	-7	-12	-19
	営業利益	116	29	88	117	233	116	29	89	118	234	0	+1	+1
ヘルスケア	売上高	35	11	13	24	59	35	13	15	28	63	+2	+2	+4
	営業利益	18	3	5	8	26	18	5	5	10	28	+2	0	+2
卸売・その他・調整額	売上高	85	13	47	60	145	85	41	55	96	181	+28	+8	+36
	営業利益	-3	-15	4	-11	-14	-3	-8	6	-2	-5	+7	+2	+9
合計	売上高	1,057	480	738	1,218	2,275	1,057	496	714	1,210	2,267	+16	-24	-8
	営業利益	241	79	166	245	486	241	93	148	241	482	+14	-18	-4

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む
※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか（内訳はp64,p65参照）
※ 企画本部の2023年度予想（2023年11月発表）は2023年11月発表 2023年度2Q決算説明会資料p66を参照、2023年度実績は本資料p49参照

セグメント別　2024年度通期業績予想　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

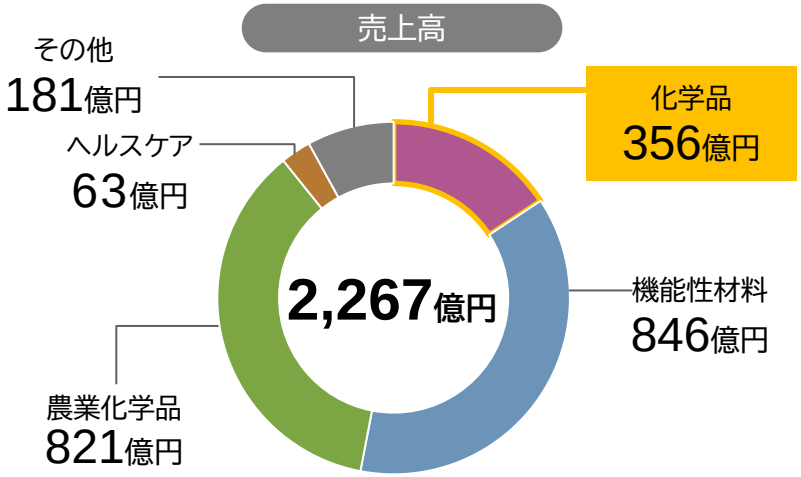
（億円）

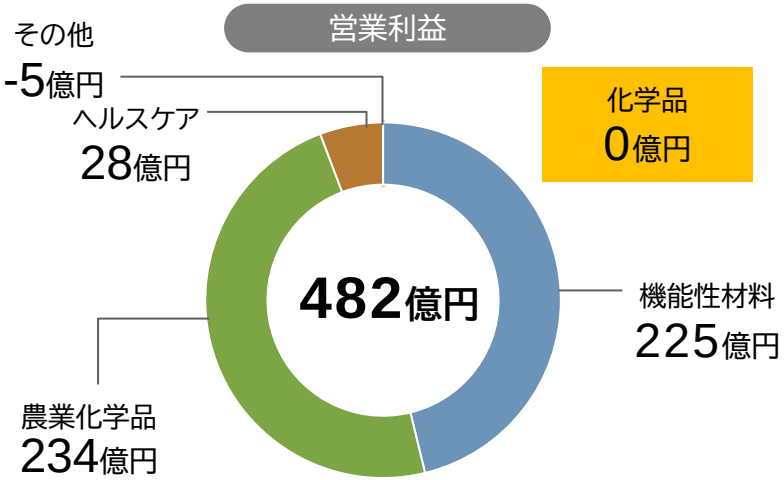
		2023年度 実績					2024年度 予想					前年同期比				
		1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
化学品	売上高	91	88	179	177	356	91	90	181	196	377	0 (0%)	+2 (+2%)	+2 (+1%)	+19 (+11%)	+21 (+6%)
	営業利益	9	-10	-1	1	0	-1	-1	-2	8	6	-10 (-)	+9 (-)	-1 (-)	+7 (-)	+6 (-)
機能性材料	売上高	208	197	405	441	846	221	226	447	472	919	+13 (+6%)	+29 (+15%)	+42 (+10%)	+31 (+7%)	+73 (+9%)
	営業利益	65	46	111	114	225	55	68	123	121	244	-10 (-15%)	+22 (+45%)	+12 (+11%)	+7 (+6%)	+19 (+8%)
農業化学品	売上高	188	165	353	468	821	199	169	368	481	849	+11 (+6%)	+4 (+3%)	+15 (+4%)	+13 (+3%)	+28 (+3%)
	営業利益	66	50	116	118	234	70	54	124	117	241	+4 (+7%)	+4 (+7%)	+8 (+7%)	-1 (-1%)	+7 (+3%)
ヘルスケア	売上高	20	15	35	28	63	18	12	30	34	64	-2 (-8%)	-3 (-25%)	-5 (-15%)	+6 (+23%)	+1 (+2%)
	営業利益	11	7	18	10	28	6	3	9	14	23	-5 (-45%)	-4 (-58%)	-9 (-50%)	+4 (+39%)	-5 (-18%)
卸売・その他・調整額	売上高	42	43	85	96	181	33	37	70	62	132	-9	-6	-15	-34	-49
	営業利益	-1	-2	-3	-2	-5	-11	-3	-14	0	-14	-10	-1	-11	+2	-9
合計	売上高	549	508	1,057	1,210	2,267	562	534	1,096	1,245	2,341	+13 (+2%)	+26 (+5%)	+39 (+4%)	+35 (+3%)	+74 (+3%)
	営業利益	150	91	241	241	482	119	121	240	260	500	-31 (-21%)	+30 (+33%)	-1 (0%)	+19 (+8%)	+18 (+4%)

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む
※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか（内訳はp64,p65参照）
※ 企画本部の2023年度実績、2024年度予想の売上高・営業利益はp49参照

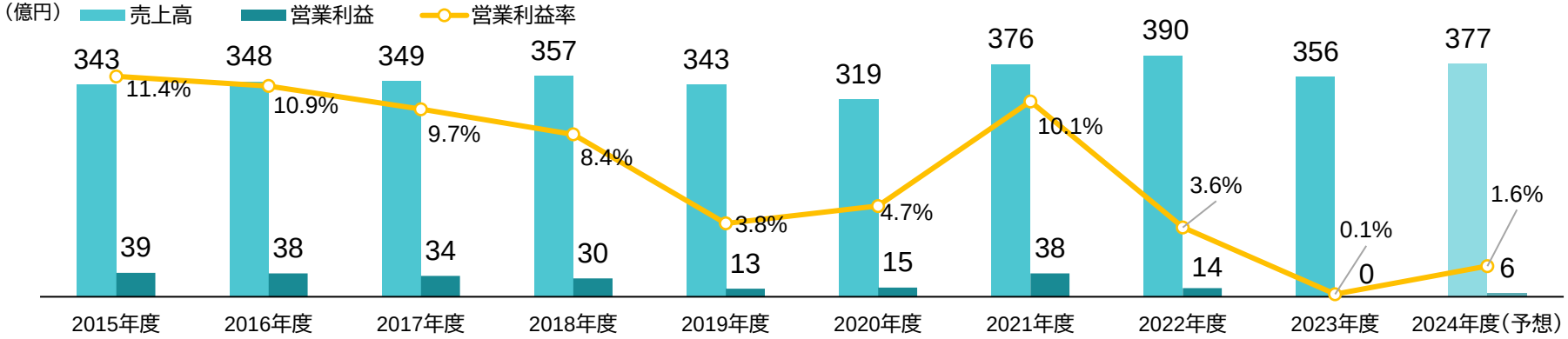
Nissan Chemical CORPORATION

2023年度セグメント別業績





化学品セグメント業績推移※1

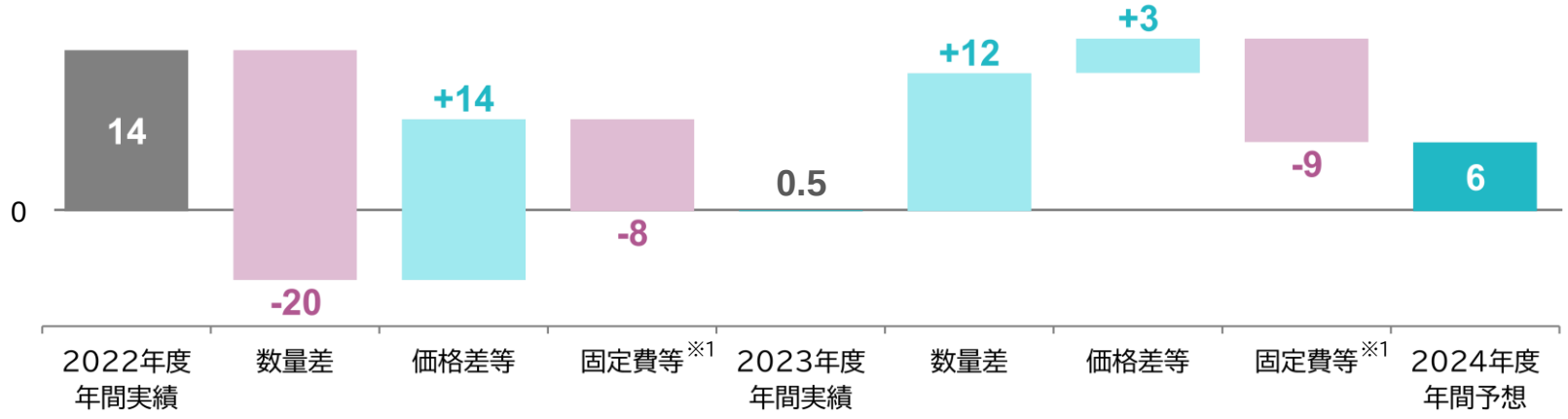


※1 2022年4月に組織改定を実施。2015～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み（p67参照）

営業利益増減分析

- 2023年度は、中国競合品の価格下落や能登半島地震（損失影響5億円）により数量が大幅に減少し、減収減益
- 2024年度は、高純度硫酸の販売増や地震影響の反動増により、増収増益を見込む

営業利益増減分析 (億円)



※1 固定費等には在庫変動影響を含む

化学品セグメント

2023年度実績　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

【下期】売上高-15億円(うちメラミン-2億円)、営業利益-2億円
【年間】売上高-34億円(うちメラミン-22億円)、営業利益-14億円

（億円）

	2022年度 実績					2023年度 実績					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	198	101	91	192	390	179	96	81	177	356	-19	-5	-10	-15	-34
ファインケミカル	77	33	28	61	138	60	30	26	56	116	-17	-3	-2	-5	-22
基礎化学品	121	68	63	131	252	119	66	55	121	240	-2	-2	-8	-10	-12
営業利益	11	4	-1	3	14	-1	4	-3	1	0	-12	0	-2	-2	-14

ファインケミカル

【下期】減収・増益　【年間】減収・減益

テピック一般	【下期】横ばい【年間】-39%減収
テピック電材	【下期】+11%増収【年間】-13%減収
環境化学品	【下期】-23%減収【年間】-9%減収
ファインオキソコール	【下期】+8%増収【年間】-6%減収

【下期】原燃料安(増益要因)

基礎化学品

【下期】減収・減益　【年間】減収・増益

メラミン	【下期】【年間】とも終売で-100%減収
尿素・アドブルー®	【下期】-15%減収(能登半島地震影響) 【年間】横ばい
高純度硫酸	【下期】+24%増収【年間】+5%増収 ともに価格上昇で増収
硝酸製品	【下期】-8%減収(能登半島地震影響) 【年間】価格上昇により+11%増収

【年間】原燃料安(増益要因)

2023年度実績　業績予想比

Nissan Chemical CORPORATION

【下期】売上高-30億円、営業利益-8億円

（億円）

	2023年度　予想（2023年11月発表）			2023年度　実績			業績予想比		
	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期
売上高	105	102	207	96	81	177	-9	-21	-30
ファインケミカル	37	35	72	30	26	56	-7	-9	-16
基礎化学品	68	67	135	66	55	121	-2	-12	-14
営業利益	4	5	9	4	-3	1	0	-8	-8

ファインケミカル

【下期】売上高下ぶれ・営業利益上ぶれ

テピック一般	売上高下ぶれ
テピック電材	売上高下ぶれ
環境化学品	売上高下ぶれ
ファインオキソコール	売上高下ぶれ

固定費等下ぶれ（増益要因）

基礎化学品

【下期】売上高・営業利益ともに下ぶれ

尿素・アドブルー®	売上高下ぶれ（能登半島地震影響）
高純度硫酸	売上高予想通り
硝酸製品	売上高下ぶれ（能登半島地震影響）

化学品セグメント

2024年度予想　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

【年間】売上高+21億円、営業利益+6億円

（億円）

	2023年度 実績					2024年度 予想					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
売上高	91	88	179	177	356	91	90	181	196	377	0	+2	+2	+19	+21
ファインケミカル	30	30	60	56	116	31	30	61	61	122	+1	0	+1	+5	+6
基礎化学品	61	58	119	121	240	60	60	120	135	255	-1	+2	+1	+14	+15
営業利益	9	-10	-1	1	0	-1	-1	-2	8	6	-10	+9	-1	+7	+6

ファインケミカル

【年間】増収・減益

テピック一般	横ばい
テピック電材	+10%増収
環境化学品	+14%増収
ファインオキソコール	-6%減収

固定費等増加

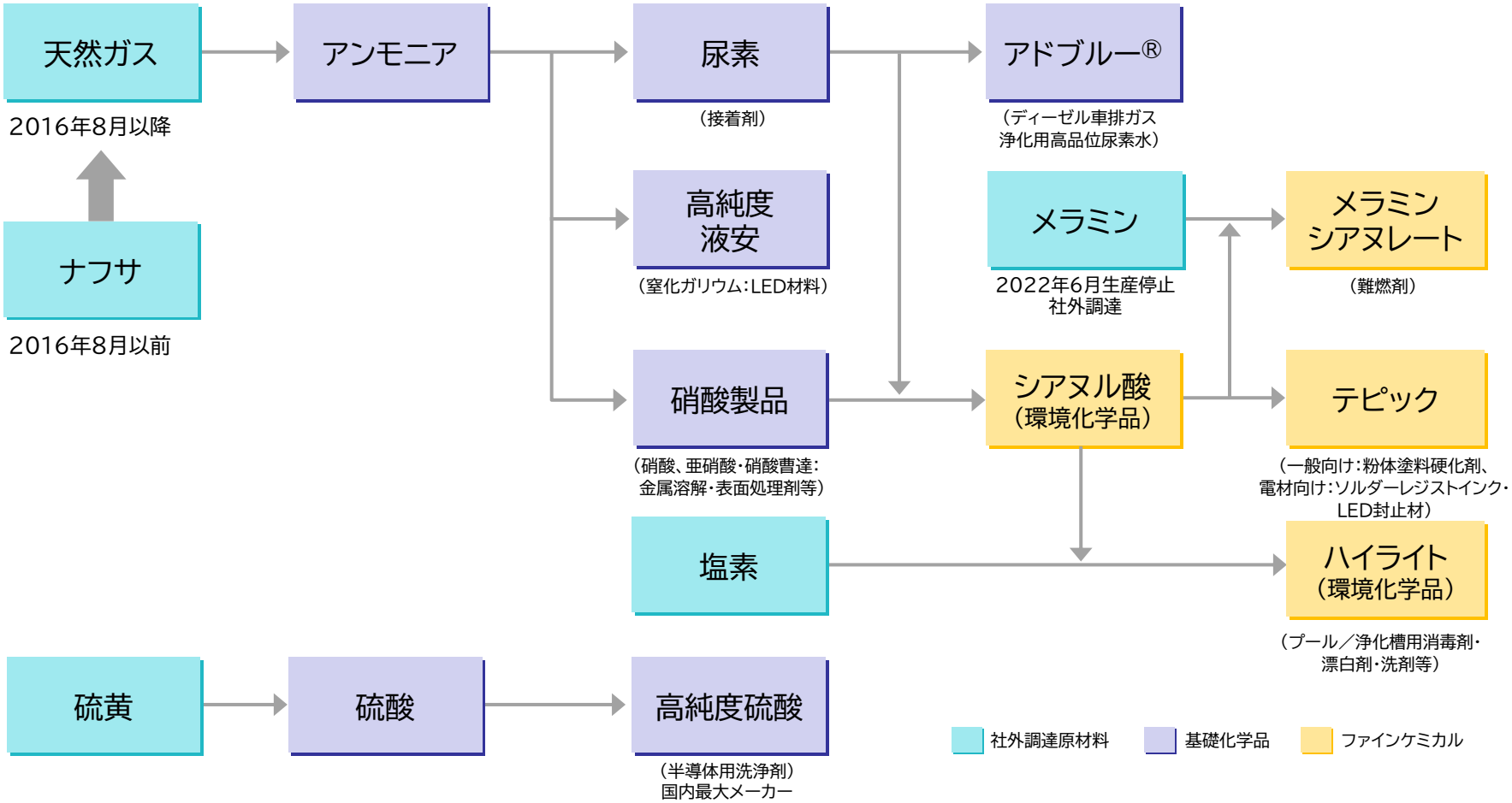
基礎化学品

【年間】増収・増益

尿素・アドブルー®	横ばい
高純度硫酸	数量増により+24%増収
硝酸製品	+7%増収（23年度震災影響の反動増）

主要製品製造フロー

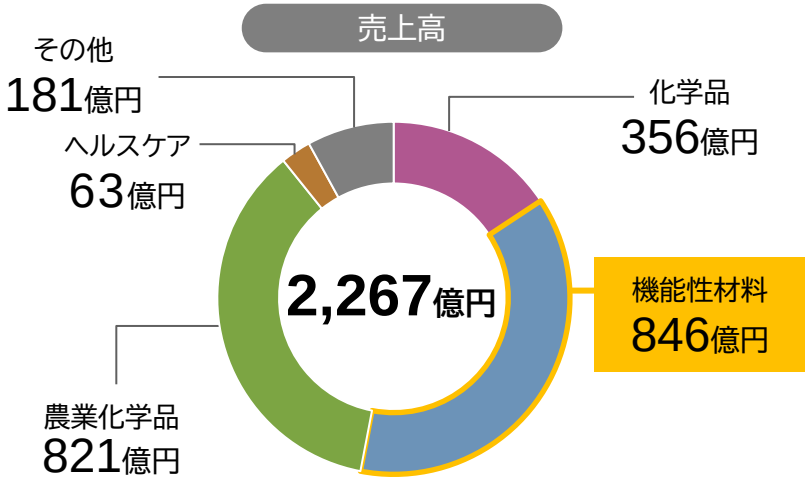
- 主要製品は、アンモニア系と硫酸系
- 2023年度アンモニア国内生産能力シェアはわずか11%
- 規模を追わず、高純度硫酸やテピックなどの高付加価値製品へ注力

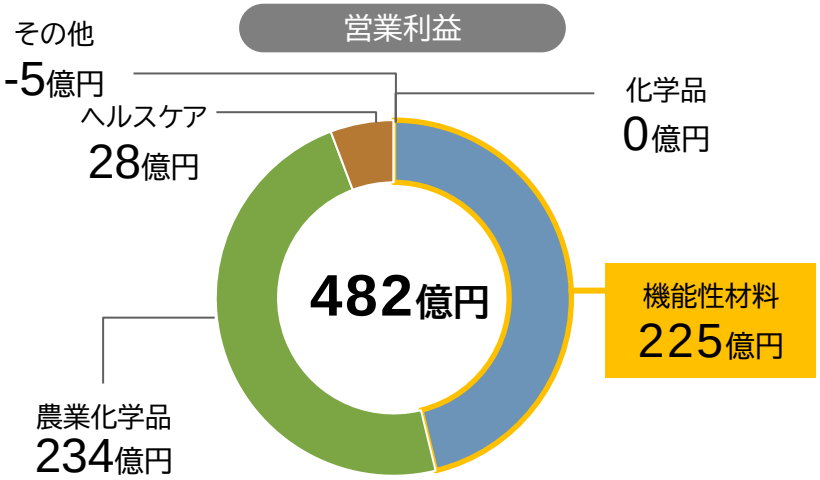


概況

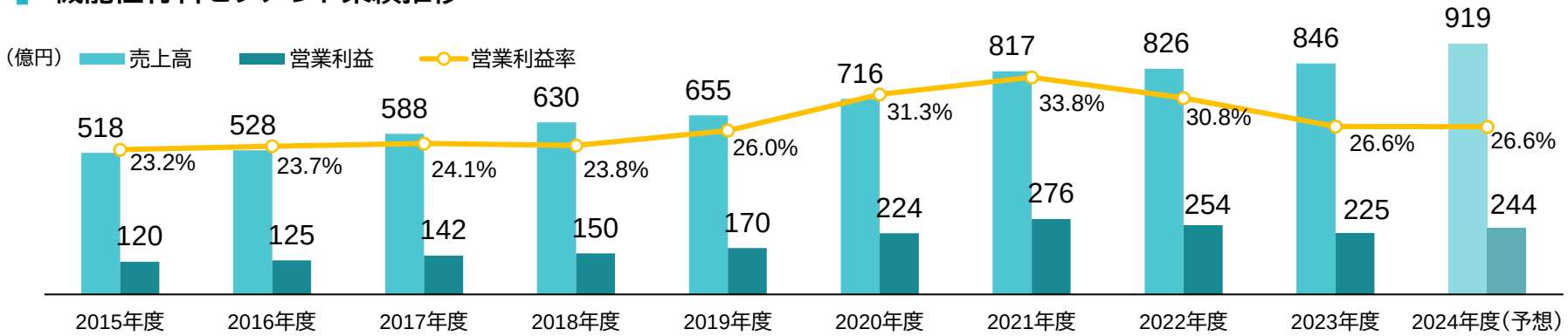
Nissan Chemical CORPORATION

2023年度セグメント別業績





機能性材料セグメント業績推移※1



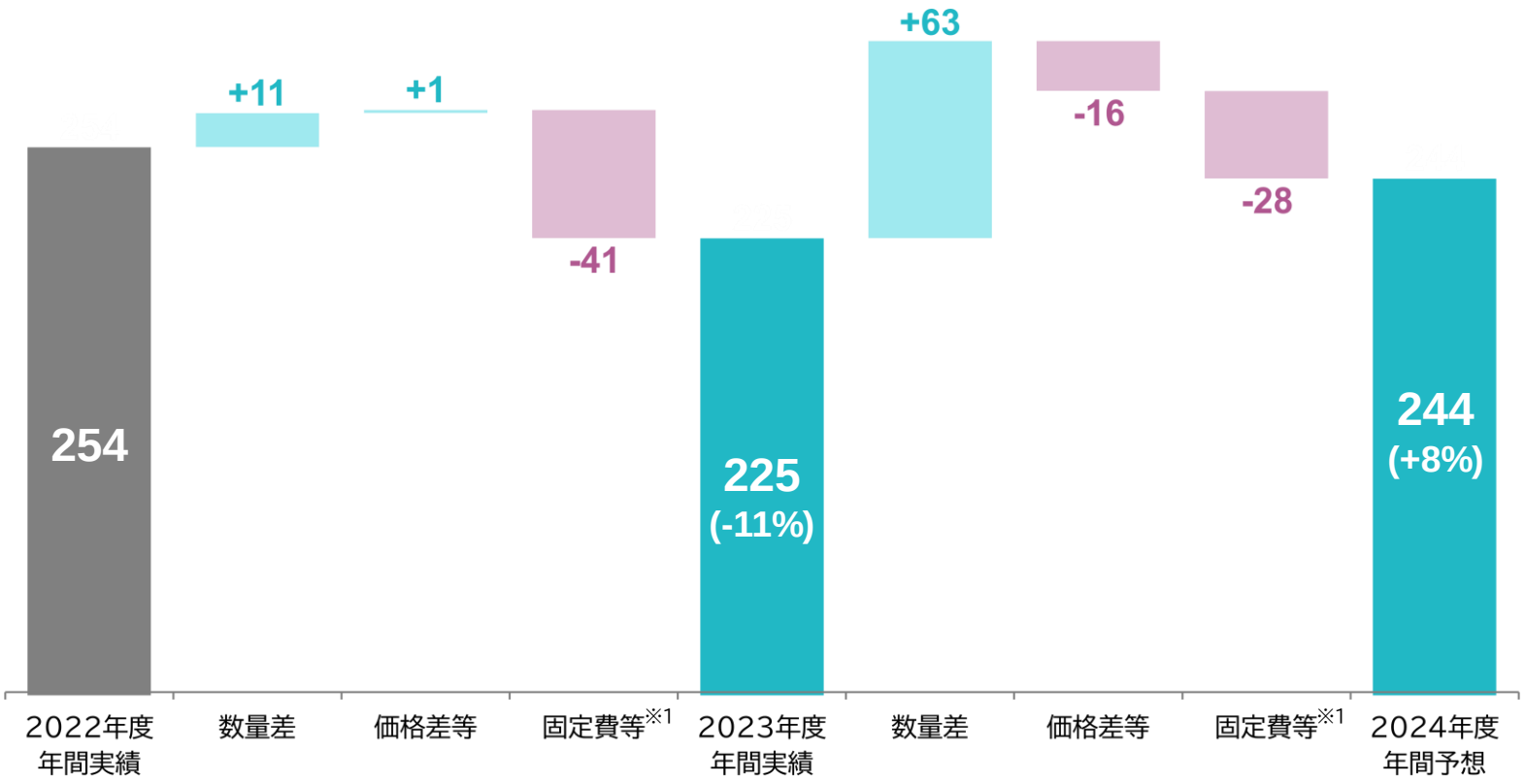
※1 2022年4月に組織改定を実施。2015～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み（p67参照）

参考 機能性材料R&D説明会（2022年6月21日発表）

営業利益増減分析

- 2023年度はディスプレイ回復等により数量増も、半導体の成長投資による固定費増により増収減益
- 2024年度はディスプレイや半導体の回復による数量増に加え、固定費の増加逓減により増収増益

営業利益増減分析 (億円)

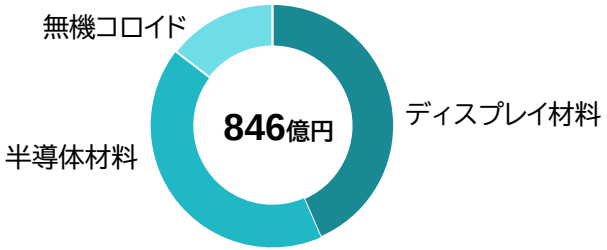


※1 固定費等には在庫変動影響を含む

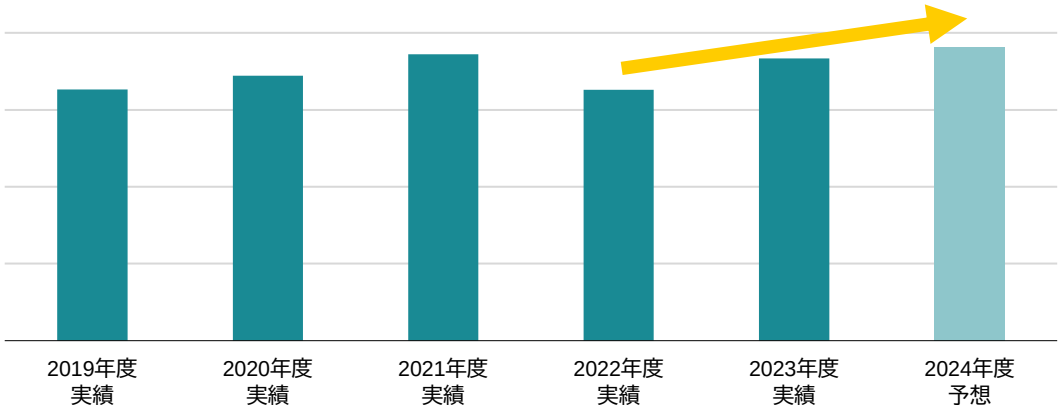
ディスプレイ材料・半導体材料売上高推移

Nissan Chemical CORPORATION

機能性材料サブセグメント売上高構成（2023年度実績）

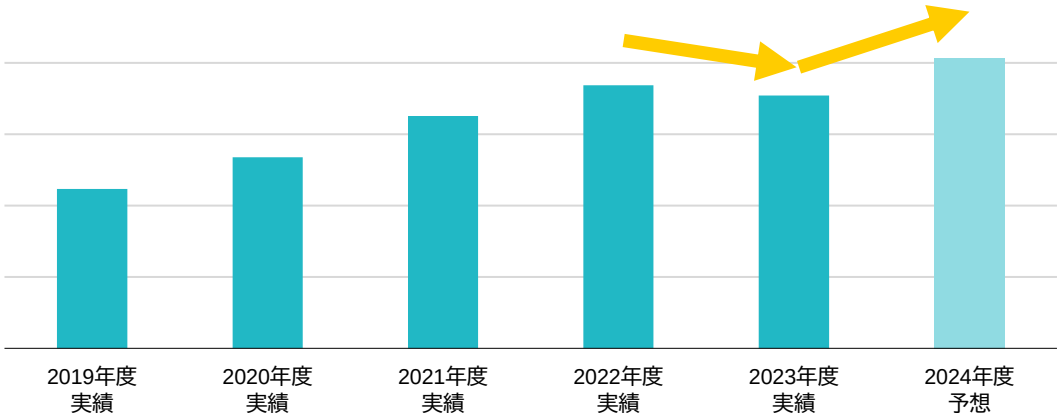


ディスプレイ材料売上高推移



- 2022年度を底として市場回復
- 他モード（ラビングIPSなど）から光IPSへの転換は順調に進む

半導体材料売上高推移



- 本格的な回復は24年度下期以降を見込む
- 2023年度は一時的な調整局面にあったが、中長期での成長トレンドは不変
- EUV材料は顧客生産増により伸長

主要製品売上高成長率

Nissan Chemical CORPORATION

- ディスプレイ材料は、2023年度下期で9%増収、2024年度年間で4%増収予想
- 半導体材料は、2023年度下期で14%増収、2024年度年間で15%増収予想
- 無機コロイドは、2023年度下期で2%減収、2024年度年間で3%増収予想

主要製品	2023年度 実績					2024年度 予想				
	前年同期比					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
サンエバー	+17%	+7%	+10%	+8%	+13%	+1%	+1%	+1%	+5%	+3%
ディスプレイ材料合計	+17%	+7%	+10%	+9%	+12%	+2%	+2%	+2%	+6%	+4%
ARC®	-22%	+3%	+11%	+7%	-9%	+3%	+24%	+13%	+5%	+9%
多層材料	-24%	-7%	+45%	+20%	-3%	+31%	+51%	+41%	+11%	+24%
EUV材料※1	+15%	+29%	+51%	+39%	+26%	+39%	+32%	+35%	+38%	+37%
半導体材料合計	-19%	+4%	+23%	+14%	-4%	+13%	+30%	+22%	+10%	+15%
無機コロイド合計	-6%	-5%	+2%	-2%	-4%	+3%	+11%	+7%	0%	+3%
機能性材料セグメント合計	-4%	+4%	+13%	+8%	+2%	+6%	+15%	+10%	+7%	+9%

※1 EUV材料：EUV向け下層膜とSi-HMの合計

2023年度実績　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

【下期】売上高+35億円、営業利益-1億円、固定費等増加合計26億円
【年間】売上高+20億円、営業利益-29億円、固定費等増加合計41億円

（億円）

	2022年度　実績					2023年度　実績					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	420	206	200	406	826	405	214	227	441	846	-15	+8	+27	+35	+20
営業利益	139	69	46	115	254	111	63	51	114	225	-28	-6	+5	-1	-29

ディスプレイ

【下期】増収・増益　【年間】増収・増益

光IPS	【下期】【年間】とも増収 （ともに大型モニター・スマホ・車載向け増収）
ラビングIPS	【下期】減収 【年間】横ばい
VA	【下期】横ばい 【年間】増収（一部シェア拡大）

【下期】ディスプレイ市場回復、固定費等増加5億円
【年間】ディスプレイ市場回復、固定費等増加4億円

半導体

【下期】増収・減益　【年間】減収・減益

ARC®	【下期】増収 【年間】減収
多層材料	【下期】増収 【年間】減収
EUV材料	【下期】【年間】とも増収 （EUV下層膜は好調を維持し増収）

【下期】半導体市場徐々に回復、固定費等増加16億円
【年間】上期半導体市場低調、固定費等増加30億円

無機コロイド

【下期】減収・減益　【年間】減収・増益

【年間】スノーテックス（研磨剤）、オイル＆ガス材料減収

2023年度実績　業績予想比

Nissan Chemical CORPORATION

【下期】売上高+1億円、営業利益-8億円、固定費等上ぶれ合計7億円(減益要因)

（億円）

	2023年度　予想（2023年11月発表）			2023年度　実績			業績予想比		
	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期
売上高	212	228	440	214	227	441	+2	-1	+1
営業利益	58	64	122	63	51	114	+5	-13	-8

ディスプレイ

【下期】売上高・営業利益ともに下ぶれ

光IPS	予想通り
ラビングIPS	下ぶれ
VA	下ぶれ(TV生産調整)

固定費等下ぶれ1億円(増益要因)

半導体

【下期】売上高上ぶれ・営業利益下ぶれ

ARC®	上ぶれ
多層材料	上ぶれ
EUV材料	予想通り

固定費等上ぶれ9億円(減益要因)

無機コロイド

【下期】売上高予想通り・営業利益上ぶれ

機能性材料セグメント

2024年度予想　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

【年間】売上高＋73億円、営業利益＋19億円、固定費等増加28億円

（億円）

	2023年度　実績					2024年度　予想					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
売上高	208	197	405	441	846	221	226	447	472	919	+13	+29	+42	+31	+73
営業利益	65	46	111	114	225	55	68	123	121	244	-10	+22	+12	+7	+19

ディスプレイ

【年間】増収・増益

光IPS	増収（非スマホ向け増収）
ラビングIPS	減収
VA	増収（TV増産）

ディスプレイ市場回復、固定費等増加3億円

半導体

【年間】増収・増益

ARC®	増収
多層材料	増収
EUV材料	増収

半導体市場徐々に回復、固定費等増加22億円

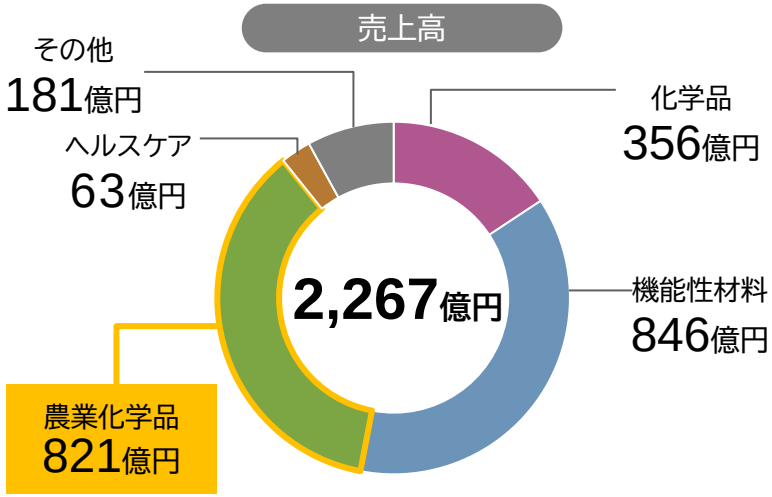
無機コロイド

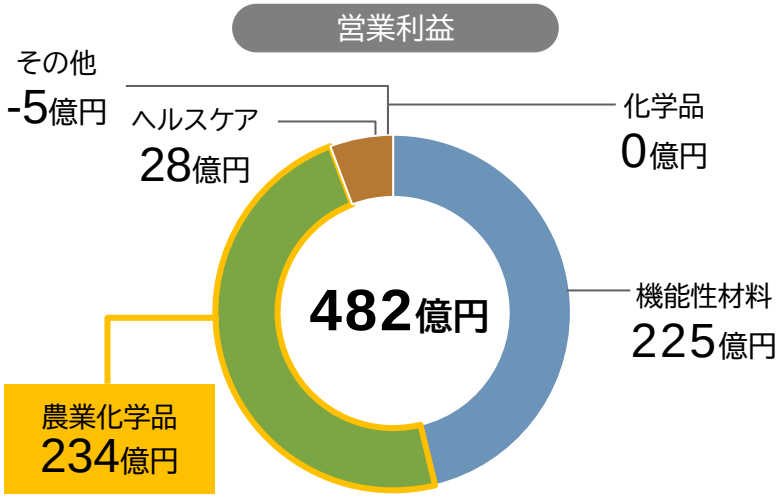
【年間】増収・減益

スノーテックス（研磨剤）、オイル＆ガス材料増収

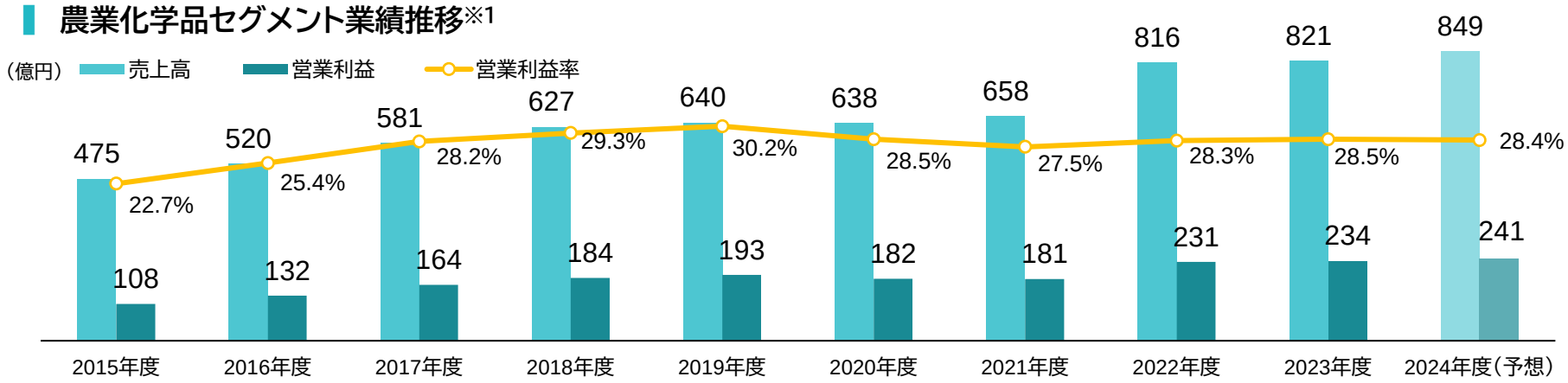
Nissan Chemical CORPORATION

2023年度セグメント別業績





農業化学品セグメント業績推移※1



※1 2022年4月に組織改定を実施。2015～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み（p67参照）

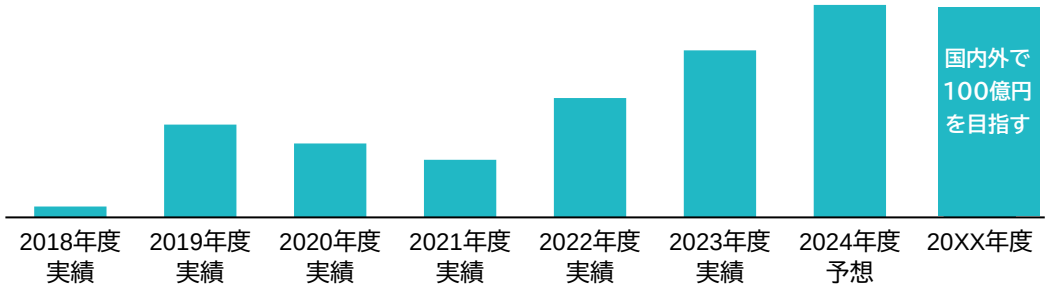
主要製品売上高成長率（値引前）

Nissan Chemical CORPORATION

■ 2023年度下期で2%増収、2024年度年間で3%増収予想

主要製品名（農薬：2023年度売上高順）		種類	2023年度 実績 前年同期比 上期	3Q	4Q	下期	年間	2024年度 予想 前年同期比 1Q	2Q	上期	下期	年間
農薬	ラウンドアップ※1	除草剤	-10%	-28%	+8%	+3%	-3%	0%	+3%	+1%	+2%	+2%
農薬	アルテア	除草剤	-17%	-9%	+1%	-1%	-4%	+9%	+96%	+17%	+2%	+5%
農薬	グレーシア	殺虫剤	+113%	-7%	+15%	+6%	+40%	+11%	+6%	+9%	+45%	+27%
農薬	タルガ	除草剤	+1%	+41%	-5%	+5%	+3%	-23%	-44%	-30%	-24%	-27%
農薬	ダイセン	殺菌剤	-3%	+16%	+3%	+6%	+3%	-6%	-9%	-8%	-7%	-7%
農薬	パーミット	除草剤	+28%	-63%	+40%	-23%	+3%	+29%	-5%	+3%	-16%	-4%
農薬	ライメイ	殺菌剤	-47%	-33%	-27%	-28%	-35%	+81%	-3%	+39%	+4%	+14%
動物薬	フルララネル	動物薬	+5%	+10%	+30%	+19%	+11%	+11%	0%	+6%	+4%	+5%
セグメント合計※2		-	-1%	+1%	+3%	+2%	+1%	+6%	+3%	+4%	+3%	+3%

グレーシア売上高



参考

ラウンドアップの現状説明会資料
（2020年1月22日発表）
農業化学品事業説明会資料
（2022年9月28日発表）

※1 ラウンドアップALは、2023年度通期実績のラウンドアップ売上高全体の21%を占める
※2 セグメント合計の前年同期比は値引きを含む

2023年度実績　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

【下期】売上高＋9億円、営業利益＋8億円、固定費等増加7億円
【年間】売上高＋5億円、営業利益＋3億円、固定費等増加17億円

（億円）

	2022年度　実績					2023年度　実績					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	357	131	328	459	816	353	132	336	468	821	-4	+1	+8	+9	+5
営業利益	121	31	79	110	231	116	29	89	118	234	-5	-2	+10	+8	+3

主要製品		
	ラウンドアップ（除草剤）	【下期】増収（ML：横ばい、AL：増収）【年間】減収（ML：減収、AL：横ばい）
	アルテア（除草剤）	【下期】横ばい 【年間】減収（国内：減収、22年度は値上げ前の駆け込み需要あり）
	グレーシア（殺虫剤）	【下期】増収 【年間】増収（輸出：アジアでの拡販）
	タルガ（除草剤）	【下期】【年間】ともに増収（輸出：24年度から出荷前倒し）
	ダイセン（殺菌剤）	【下期】【年間】ともに増収（輸出：韓国向け増収）
	パーミット（除草剤）	【下期】減収（輸出：23年度は上期に販売が偏重）【年間】増収
	ライメイ（殺菌剤）	【下期】【年間】ともに減収（輸出：流通在庫影響により欧州向け数量減）
	フルララネル（動物薬）	【下期】【年間】ともに増収（原薬・ロイヤリティ収入ともに増収、一部円安影響あり）

2023年度実績　業績予想比

Nissan Chemical CORPORATION

【下期】売上高-19億円、営業利益+1億円、固定費等上ぶれ3億円（減益要因）

（億円）

	2023年度　予想（2023年11月発表）			2023年度　実績			業績予想比		
	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期
売上高	139	348	487	132	336	468	-7	-12	-19
営業利益	29	88	117	29	89	118	0	+1	+1

主要製品		
	ラウンドアップ（除草剤）	売上高下ぶれ（ML：売上高下ぶれ、AL：売上高予想通り）
	アルテア（除草剤）	売上高下ぶれ
	グレーシア（殺虫剤）	売上高下ぶれ（輸出：インド向け天候不良により数量減）
	タルガ（除草剤）	売上高上ぶれ（輸出：24年度から出荷前倒し）
	ダイセン（殺菌剤）	売上高予想通り
	パーミット（除草剤）	売上高上ぶれ
	ライメイ（殺菌剤）	売上高下ぶれ（輸出：流通在庫影響により欧州向け下ぶれ）
	フルララネル（動物薬）	売上高上ぶれ（原薬・ロイヤリティ収入ともに上ぶれ、一部円安影響あり）

2024年度予想　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

【年間】売上高+28億円、営業利益+7億円、固定費等増加25億円

（億円）

	2023年度　実績					2024年度　予想					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
売上高	188	165	353	468	821	199	169	368	481	849	+11	+4	+15	+13	+28
営業利益	66	50	116	118	234	70	54	124	117	241	+4	+4	+8	-1	+7

主要製品		
	ラウンドアップ（除草剤）	増収（ML・ALともに数量増）
	アルテア（除草剤）	増収（国内：拡販）
	グレーシア（殺虫剤）	増収（国内：増収、輸出：アジアでの拡販）
	タルガ（除草剤）	減収（輸出：23年度へ出荷前倒し、欧州での流通在庫影響）
	ダイセン（殺菌剤）	減収
	パーミット（除草剤）	減収
	ライメイ（殺菌剤）	増収（輸出：欧州での流通在庫影響回復見込み）
	フルララネル（動物薬）	増収（原薬出荷堅調）

農業化学品セグメント　主要製品一覧

Nissan Chemical CORPORATION

	上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
既存製品	2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
	2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
	2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
	2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
	2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤。2016年AlⅡ、2017年AlⅢ上市
	2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
	2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社※1向けにブラベクト®原薬として出荷開始
	2014	ブラベクト®※2	ペット動物用医薬品	-	2014年4月欧州、6月米国、15年7月日本で上市
	2017	トランスフォーム™／エクシード™／ビレスコ™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
新製品・パイプライン	2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない。2018年韓国、2019年日本、2021年インド・インドネシアで上市以降、順次販売国拡大中(ピーク時売上高目標100億円)
	2019	クインテック(キノキシフェン)	殺菌剤	買収	2019年11月米国コルテバ社より世界事業を買収。果樹野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的
	2020	ダイセン(マンゼブ)	殺菌剤	買収	2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収。果樹野菜用の保護除菌剤、耐雨性に優れる
	2024	ベルダー(ジメスルファゼット)(NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや難防除雑草クログワイに高い効果を持つ(ピーク時売上目標35億円)
	2027	未定(NC-520)	殺虫剤	共同開発	他社との共同開発の新規水稲用殺虫剤。ウンカ類への効果が高い(混合剤も含めピーク時売上目標25億円)
	2027	未定(イプトリアゾピリド)(NC-656)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ・アゼガヤ)に優れた効果を持つ。当社初の水稲用茎葉除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

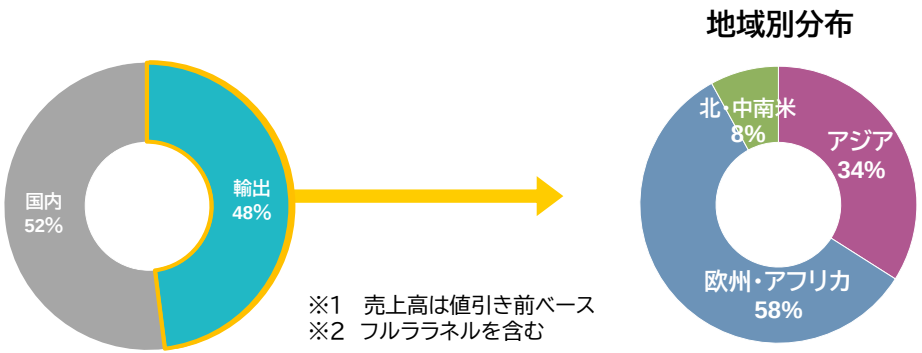
新製品群のピーク時売上高目標合計
310億円

※1 MSD社:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称　※2 ブラベクト®:MSD社の販売製品名

農薬製品ポートフォリオ

国内農薬販売 第1位（2021年10月～2022年9月）
農薬売上高は国内向けの方が海外向けよりも大きい

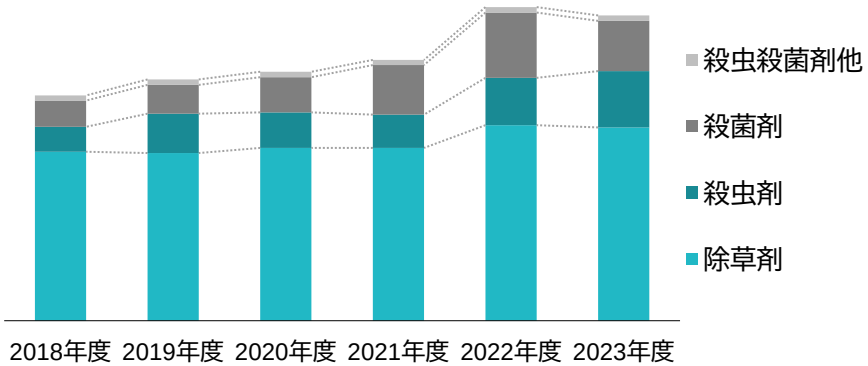
農業化学品セグメントの輸出比率（2023年度実績）※1･2



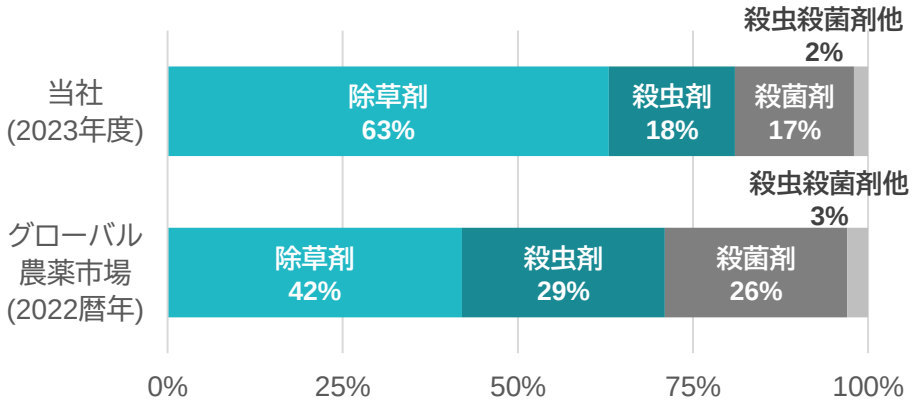
※1　売上高は値引き前ベース
※2　フルララネルを含む

既存剤の拡販、自社開発剤の上市、剤の買収・導入により、製品ポートフォリオの拡充を進める

当社の農薬売上高推移



当社の農薬売上高構成比



動物用医薬品原薬　フルララネル

- 当社が発明した化合物「フルララネル」を有効成分とするブラベクト®シリーズ・エグゾルト®は現在100か国以上で販売中
- ブラベクト®最大の特徴は12週間にわたる効果持続性（既存製品は1か月程度）

1. フルララネル（有効成分）
   - 2. ブラベクト®（犬・猫用）
   - 3. ブラベクト®プラス（猫用）
   - 4. エグゾルト®（鶏・牛・羊用）

1. フルララネル（Fluralaner）

- ブラベクト®・エグゾルト®の有効成分。当社がMSD社※1に供給
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
  - 2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
  - UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は延長申請中

2. ブラベクト®（BRAVECTO®）

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬。犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- 通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間※2にわたって持続する
- 犬向けチュアブルタブレット（経口投与製剤）
  - 2014年4月欧州、以降米国、日本等で上市
  - 2020年7月1か月剤（子犬向け）米国上市
- 犬、猫向けスポットオン製品（経皮投与製剤）
  - 2016年7月欧州、以降米国、日本等上市

3. ブラベクト®プラス（BRAVECTO® Plus）

- 猫向け内外部寄生虫スポットオン合剤
  - 2018年7月欧州、以降米国、日本等上市

4. エグゾルト®（EXZOLT®）

- 鶏向けワクモ駆除剤（飲水投与）
  - 2017年9月欧州、以降韓国、中東等上市、2021年7月日本上市
- 牛向け
  - 2022年9月ブラジル上市、2023年4月メキシコ上市
- 羊向け
  - 2023年豪州、NZにて上市

※1　米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称　　※2 クリイロコイタマダニは8週間

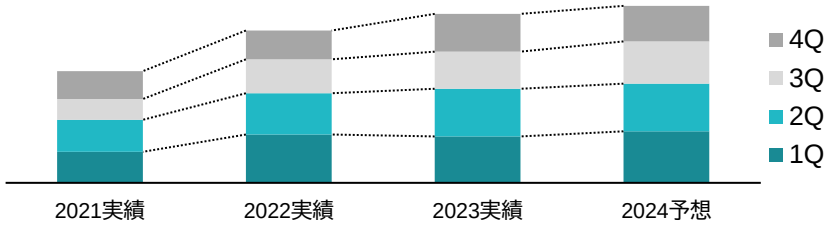
フルララネル　売上高推移

当社のフルララネル売上高の構成

MSD社へのフルララネル販売　＋　MSD社からのランニングロイヤリティ（RR）

2021～2024年度　四半期別売上高推移

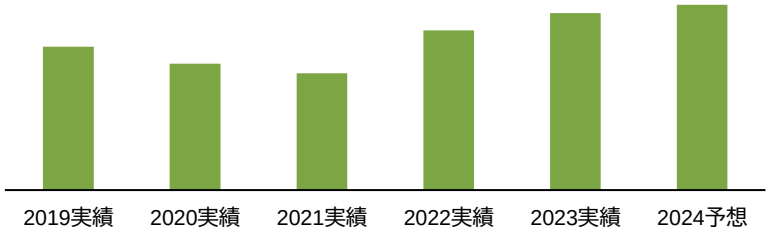
（RR収入含む）



ロイヤリティ収入は、2020年度まで2･4Q計上であったが、会計方針の変更にともない、2021年度からは各四半期に計上されている（p66参照）

2019～2024年度　売上高推移

（RR収入含む）



・フルララネルの在庫調整は2021年度で完了
・2022年度は、2021年度からの出荷後ろ倒しと円安影響により大幅増収。実績為替レートは136円/ﾄﾞﾙ
・2023年度の実績為替レートは145円/ﾄﾞﾙ
・2024年度の想定為替レートは上期145円/ﾄﾞﾙ、下期140円/ﾄﾞﾙ

ブラベクト®の拡大に向けたMSD社の開発状況

- フルララネルを有効成分とするペット向けの新たな内外部寄生虫薬をMSD社が開発中
- 犬向け外部寄生虫注射剤BRAVECTO Quantum™が2023年5月豪州、2024年1月欧州等にて承認（特徴：12か月※3の効果持続性）

※3　クリイロコイタマダニは11か月

インド合弁会社の設立

Nissan Chemical CORPORATION

- グローバルな安定供給と製造コスト削減を目指した新たな原体生産拠点
- 計画通り設立完了し、2022年度よりNBRを連結子会社に追加。2023年3月から商業稼動を開始
- 2023年度は計画通り単体黒字化

Nissan Bharat Rasayan Private Limited(NBR)概要

本社所在地	ハリヤナ(Haryana)州グルガオン(Gurgaon)(ニューデリー近郊)
工場所在地	グジャラート(Gujarat)州サイカ(Saykha)に新設 (土地は同州産業開発公社(GIDC)より賃借)
営業開始日	2020年4月1日
事業内容	当社の農薬(グレーシア、ライメイ等)原体を製造し、 当社へ販売
従業員数	約150名(2024年4月1日時点)
工場稼働時期	2022年度4Qより稼働開始
株主	当社70%、Bharat Rasayan Ltd(略称BRL)30%
取締役会	当社指名5名、BRL指名2名、中立1名、合計8名

Bharat Rasayan Ltd(BRL)概要

設立	1989年(インド大手農薬製造販売会社)
上場	インド国立証取(NSE)、ボンベイ証取(BSE)
主要株主	グプタ(Sat Narain Gupta)会長等創業家一族74.99%
損益状況	2022年度売上高12,343百万ルピー、税引後利益1,246百万ルピー
工場	グジャラート州(Gujarat)ダヘジ(Dahej)、ハリヤナ州(Haryana) ロータク(Rohtak)の2工場
当社との関係	一部当社品を受託生産、グループ会社のBharat Certis Agriscienceが タルガ、パルサー、パーミットをインド国内で販売

資金計画 (2022年5月発表時点)

(億円)

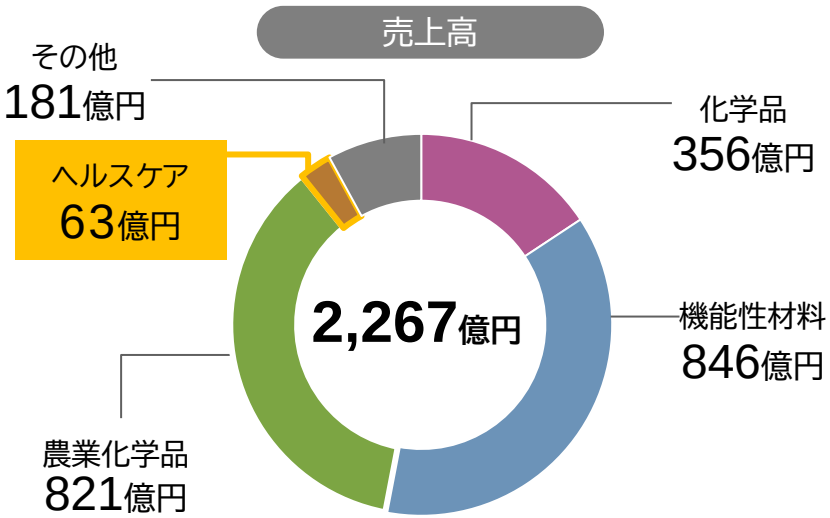
設備投資	60	資本金	23
運転資金他	28	当社貸付	65
所要資金合計	88	資金調達合計	88

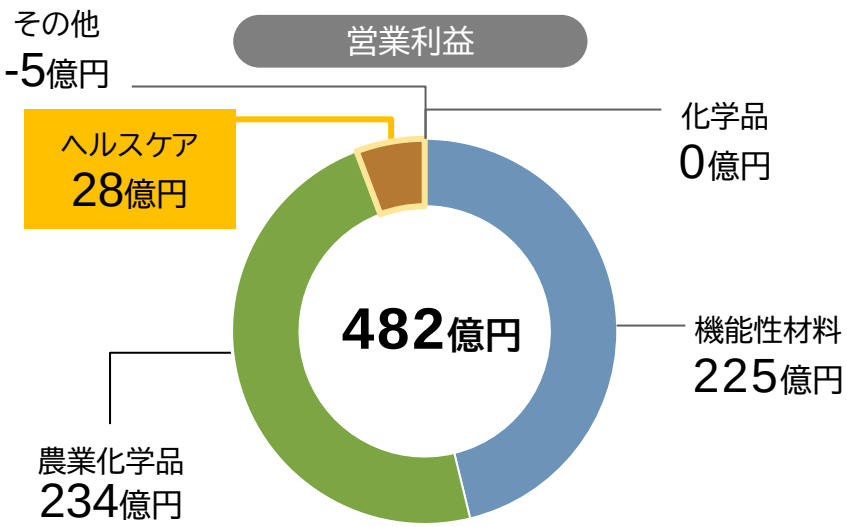
当社メリット

- 信頼できる経験豊富な現地パートナーの協力体制
- 有効成分の供給源の多様性・安全性確保と、原料不足リスクの低減
- 国内工場に比べて低い製造コスト
- すぐに利用できる工場用地(借地権の正式認可手続き完了済み)
- 既存の現地企業のM&Aに比べ、経営・財務リスクを大幅に軽減

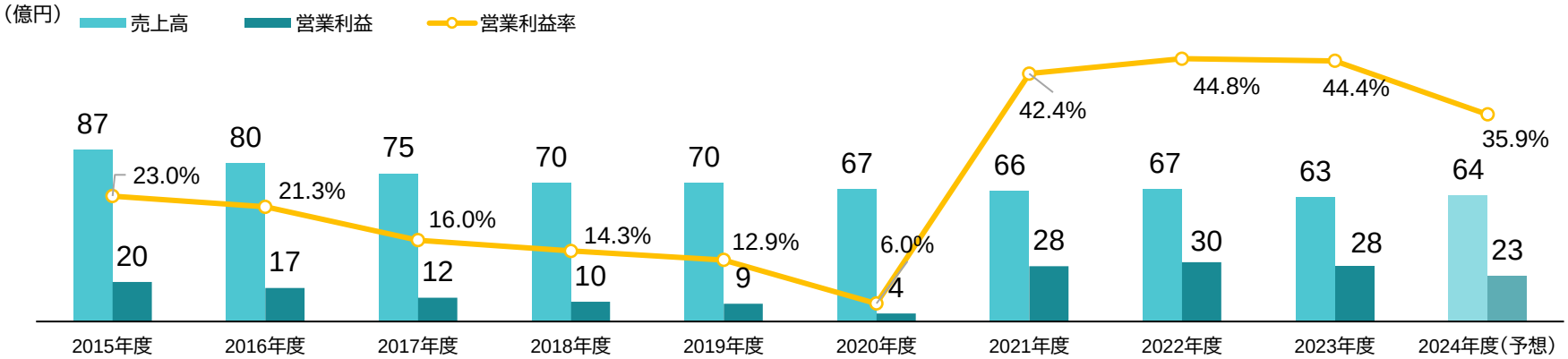
ヘルスケアセグメント 概況

2023年度セグメント別業績





ヘルスケアセグメント業績推移※1



※1 2022年4月に組織改定を実施。2015～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み（p67参照）

リバロとファインテック

Nissan Chemical CORPORATION

リバロ

2003年に興和から上市した高コレステロール血症治療薬。現在、世界30か国以上で販売中（当社が原薬を供給）

売上高（原薬販売）の推移	2020年度※2	2021年度	2022年度	2023年度※3	2024年度 予想
前年同期比増減率	-30%	-17%	0%	-5%	-23%
うち国内	+6%	+30%	-17%	-3%	-38%
うち海外	-35%	-28%	+7%	-6%	-18%
2012年度比増減率※1	-73%	-78%	-78%	-79%	-84%

※1 2013年8月 国内物質特許満了。2012年度がリバロ売上高（国内外計）のピーク　※2 2020年8月 欧州で市場独占期間満了
※3 2023年11月 米国ジェネリック参入

ファインテック

課題解決型受託事業として、前臨床から商業生産まで新薬の原薬・中間体製造プロセス研究を受託
特に近年は高活性・高付加価値ジェネリック原薬を中心に新規案件獲得に注力

■ 高付加価値ジェネリック原薬の販売状況

販売開始年度	原薬	用途
2016	マキサカルシトール	尋常性乾癬／二次性副甲状腺機能亢進症治療
2017	エルデカルシトール	骨粗しょう症治療

■ ファインテック売上高の推移（2014～2024年度）

（億円）

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 予想
18	23	24	25	26	29	38	42	43	40	45

ヘルスケアセグメント 2023年度実績　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

【下期】売上高-6.7億円、営業利益-5.3億円　【年間】売上高-3.7億円、営業利益-1.8億円

（億円）

	2022年度 実績					2023年度 実績					前年同期比				
	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高	32.5	15.9	18.3	34.2	66.7	35.5	12.9	14.6	27.5	63.0	+3.0	-3.0	-3.7	-6.7	-3.7
ヘルスケア	14.2	3.5	5.8	9.3	23.5	12.9	5.9	4.3	10.2	23.1	-1.3	+2.4	-1.5	+0.9	-0.4
ファインテック	18.3	12.4	12.5	24.9	43.2	22.6	7.0	10.3	17.3	39.9	+4.3	-5.4	-2.2	-7.6	-3.3
営業利益	14.6	6.6	8.7	15.3	29.9	18.1	4.7	5.3	10.0	28.1	+3.5	-1.9	-3.4	-5.3	-1.8
ヘルスケア	6.3	1.0	2.0	3.0	9.3	5.7	1.8	1.8	3.6	9.3	-0.6	+0.8	-0.2	+0.6	0.0
ファインテック	8.3	5.6	6.7	12.3	20.6	12.4	2.9	3.5	6.4	18.8	+4.1	-2.7	-3.2	-5.9	-1.8

※ p7,p11,p17,p18,p19,p49,p50,p63,p64,p65では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

ヘルスケア

【下期】増収・増益 【年間】減収・利益横ばい

リバロ
【下期】増収（国内増収、輸出横ばい）
【年間】減収（国内・輸出とも減収）

【年間】固定費等減少

ファインテック

【下期】減収・減益 【年間】減収・減益

【下期】【年間】ともに減収（23年度から24年度へ出荷後ろ倒し）

ヘルスケアセグメント 2023年度実績　業績予想比

Nissan Chemical CORPORATION

【下期】売上高+3.6億円、営業利益+2.2億円

（億円）

	2023年度　予想（2023年11月発表）			2023年度　実績			業績予想比		
	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期
売上高	10.6	13.3	23.9	12.9	14.6	27.5	+2.3	+1.3	+3.6
ヘルスケア	5.8	2.9	8.7	5.9	4.3	10.2	+0.1	+1.4	+1.5
ファインテック	4.8	10.4	15.2	7.0	10.3	17.3	+2.2	-0.1	+2.1
営業利益	3.3	4.5	7.8	4.7	5.3	10.0	+1.4	+0.8	+2.2
ヘルスケア	2.0	0.6	2.6	1.8	1.8	3.6	-0.2	+1.2	+1.0
ファインテック	1.3	3.9	5.2	2.9	3.5	6.4	+1.6	-0.4	+1.2

※ p7,p11,p17,p18,p19,p49,p50,p63,p64,p65では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

ヘルスケア

【下期】売上高・営業利益ともに上ぶれ

リバロ	売上高上ぶれ(国内・輸出ともに上ぶれ)

ファインテック

【下期】売上高・営業利益ともに上ぶれ

売上高上ぶれ

ヘルスケアセグメント 2024年度予想　前年同期比

Nissan Chemical CORPORATION

【年間】売上高＋0.7億円、営業利益-5.3億円

（億円）

	2023年度　実績					2024年度　予想					前年同期比				
	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間	1Q	2Q	上期	下期	年間
売上高	19.5	16.0	35.5	27.5	63.0	17.7	12.1	29.8	33.9	63.7	-1.8	-3.9	-5.7	+6.4	+0.7
ヘルスケア	6.1	6.8	12.9	10.2	23.1	2.6	5.0	7.6	11.2	18.8	-3.5	-1.8	-5.3	+1.0	-4.3
ファインテック	13.4	9.2	22.6	17.3	39.9	15.1	7.1	22.2	22.7	44.9	+1.7	-2.1	-0.4	+5.4	+5.0
営業利益	10.9	7.2	18.1	10.0	28.1	6.1	2.9	9.0	13.8	22.8	-4.8	-4.3	-9.1	+3.8	-5.3
ヘルスケア	2.8	2.9	5.7	3.6	9.3	0.5	1.2	1.7	2.8	4.5	-2.3	-1.7	-4.0	-0.8	-4.8
ファインテック	8.1	4.3	12.4	6.4	18.8	5.6	1.7	7.3	11.0	18.3	-2.5	-2.6	-5.1	+4.6	-0.5

※ p7,p11,p17,p18,p19,p49,p50,p63,p64,p65では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

ヘルスケア

【年間】減収・減益

リバロ　減収（国内・輸出ともに減収）

固定費等増加

ファインテック

【年間】増収・減益

増収（23年度から24年度への出荷後ろ倒し）

固定費等増加

Contents

01 2023年度通期 連結決算報告 P3

02 2024年度通期 業績予想 P8

03 セグメント概況 P16

04 2024年度中期経営計画との比較 P48

05 ESGトピックス P51

06 参考資料 P56

中期経営計画 Vista2027（2022-2027年度）
セグメント別　売上高・営業利益

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

		2021年度 実績※1	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想	2024年度 中計	2027年度 中計
化学品	売上高	376	390	356	377	376	401
	営業利益	38	14	0	6	35	39
機能性材料	売上高	817	826	846	919	1,029	1,172
	営業利益	276	254	225	244	321	380
農業化学品	売上高	658	816	821	849	778	823
	営業利益	181	231	234	241	217	210
ヘルスケア	売上高	66	67	63	64	72	115
	営業利益	28	30	28	23	21	43
卸売・その他・調整額	売上高	163	182	181	132	295	339
	営業利益	-13	-6	-5	-14	-9	-2
企画本部※2	売上高	0	0	0	0	13	44
	営業利益	-49	-55	-53	-57	-47	-47
合計	売上高	2,080	2,281	2,267	2,341	2,550	2,850
	営業利益	510	523	482	500	585	670

為替レート（円/ドル）	112	136	145	143	110

（経営指標）

売上高営業利益率	24.5%	22.9%	21.3%	21.4%	20%以上
ROE	19.2%	19.4%	17.1%	16.5%	18%以上
配当性向	44.9%	56.3%	60.1%	58.9%	55%維持
総還元性向	75.6%	78.0%	86.2%	75%目標	75%維持

※1　2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み（p67参照）　※2　企画本部は卸売・その他・調整額の内数

2024年度予想と中期経営計画Stage Ⅰ（2022年5月発表）の差異

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

		2024年度中計(A)	2024年度予想(B)	差異(B)-(A)	差異要因		
化学品	売上高	376	377	+1	ファインケミカル	下ぶれ(-15%)	［上ぶれ］環境化学品 ［下ぶれ］テピック一般、テピック電材
					基礎化学品	上ぶれ(+10%)	［上ぶれ］尿素・アドブルー®、高純度硫酸、硝酸製品
	営業利益	35	6	-29	ファインケミカル下ぶれ、基礎化学品予想通り ［プラス要因］売上高上ぶれ(値上げ)［マイナス要因］固定費等上ぶれ、原燃料コスト上ぶれ		
機能性材料	売上高	1,029	919	-110	ディスプレイ	下ぶれ(-12%)	［上ぶれ］VA ［下ぶれ］光IPS、ラビングIPS、光VA、TN、その他ディスプレイ材料
					半導体	下ぶれ(-14%)	［上ぶれ］EUV材料 ［下ぶれ］ARC®、多層材料
					無機コロイド	上ぶれ(+3%)	［上ぶれ］スノーテックス一般(値上げ効果)、オイル＆ガス材料 ［下ぶれ］オルガノゾル・モノマーゾル
	営業利益	321	244	-77	下ぶれ(DP、半導体、無機コロイド) ［プラス要因］固定費等(ディスプレイ)下ぶれ ［マイナス要因］市場調整により売上高下ぶれ(ディスプレイ・半導体)、固定費等(半導体、無機コロイド)上ぶれ		
農業化学品	売上高	778	849	+71	国内 海外 動物薬	上ぶれ(+3%) 上ぶれ(+17%) 上ぶれ(+13%)	［上ぶれ］動物薬、グレーシア、パーミット、ダイセン、タルガ、アルテア ［下ぶれ］ライメイ
	営業利益	217	241	+24	［プラス要因］売上高上ぶれ、固定費等下ぶれ		
ヘルスケア	売上高	72	64	-8	創薬	上ぶれ(+20%)	［上ぶれ］リバロ輸出 ［下ぶれ］新製品
					ファインテック	下ぶれ(-21%)	［下ぶれ］ジェネリック原薬、新製品
	営業利益	21	23	+2	創薬上ぶれ、ファインテック下ぶれ ［プラス要因］固定費等下ぶれ［マイナス要因］売上高下ぶれ(新製品)		
卸売・その他・調整額	売上高	295	132	-163	調整額等	下ぶれ	
	営業利益	-9	-14	-5	卸売	上ぶれ+6	
					その他国内子会社	下ぶれ-2	
					調整額	下ぶれ-9(うち、企画本部-10)	
合計	売上高	2,550	2,341	-209			
	営業利益	585	500	-85			

Contents

01	2023年度通期 連結決算報告	P3
02	2024年度通期 業績予想	P8
03	セグメント概況	P16
04	2024年度中期経営計画との比較	P48
05	ESGトピックス	P51
06	参考資料	P56

ESGへの取り組み

Nissan Chemical CORPORATION

E（環境） S（社会）	2021年4月	ダイバーシティステートメントおよびダイバーシティビジョンを設定
	2022年5月	2050年にカーボンニュートラルへ 温室効果ガス（GHG）排出削減長期目標を設定（詳細はp55参照）
	2022年6月	メラミン停止によるGHG削減（26千トン、2018年度実績の約7%に相当）
	2022年6月	気候変動対策委員会設置
	2023年9月	「統合レポート2023」を発行
G（ガバナンス）	2019年4月	指名・報酬諮問委員会設置（取締役会の任意の諮問機関）
	2019年6月	取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入（株式給付信託）
	2022年6月	役員報酬体系にESG指標を組入れ（基本報酬65%、業績報酬28%、株式報酬7% 業績報酬28%のうち、利益連動部分90%、ESG連動部分10%）
	2023年6月	女性取締役（社外）2名選任（選任後、取締役は計10名、うち社外4名）
	2023年12月	「コーポレートガバナンス報告書」を更新

ESGインデックス・イニシアチブ・外部評価

Nissan Chemical CORPORATION

Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index

- 2023年12月
  6年連続で構成銘柄に選定

Member of Dow Jones Sustainability Indices
Powered by the S&P Global CSA

S&P/JPX カーボン・エフィシェント指数

- 2023年6月
  5年連続で構成銘柄に選定

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

FTSE

- 2023年6月 FTSE4Good Index Series、FTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に4年連続選定
- 2023年6月 FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に2年連続選定

※ FTSE Russell（FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標）はここに日産化学株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index　FTSE Blossom Japan　FTSE4Good

MSCI

- 2023年6月 日本株女性活躍指数（WIN）
  4期連続構成銘柄に選定
- 2023年6月 MSCI ESG格付け
  BBBからAへ格上げ

2023 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

※ MSCI指数への日産化学株式会社の組み入れ、および本ページにおけるMSCIロゴ、商標、サービスマーク、または指数名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による日産化学株式会社の後援、保証、または販売促進ではありません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCI指数の名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

健康経営優良法人 –ホワイト500-

- 2024年3月 8年連続認定

2024 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500

Morningstar

- 2023年3月 Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Indexの構成銘柄に選定

日経統合報告書アワード

- 2024年2月「優秀賞」に選定

NIKKEI 日経統合報告書アワード Integrated Report Award

「子育てサポート企業」くるみん

- 2023年1月 2回連続認定

2023年認定 くるみん 子育てサポートしています

気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）

- 2020年8月に賛同表明

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

GXリーグ

- 2023年2月に賛同表明
- 2023年4月から参画

GX League 2022

マテリアリティ

Nissan Chemical CORPORATION

2027年の企業像実現のため、当社が取組むべきマテリアリティ（重要課題）を特定 取組みを推進することで社会とともに持続的な成長を目指す

▸▸▸1
人びとの暮らしに役立つ新たな価値の提供

▶ **日産化学サステナブルアジェンダ※1**
社会課題解決に貢献する製品・サービスの全売上に占める割合
55% 以上維持

※1 社会課題解決に貢献する製品・サービスの提供により、「地球と人の未来のためにできること」を追求する計画

▸▸▸2
自社事業基盤の強化

▶ **人材の確保・育成**
人材育成に関する社員意識調査肯定回答率
65% 以上

▶ **ダイバーシティ推進**
研究所女性総合職比率 **18% 以上**

▸▸▸3
レスポンシブル・ケア活動の継続的強化

▶ **GHG排出削減目標**
2018年度比 **30% 以上削減**

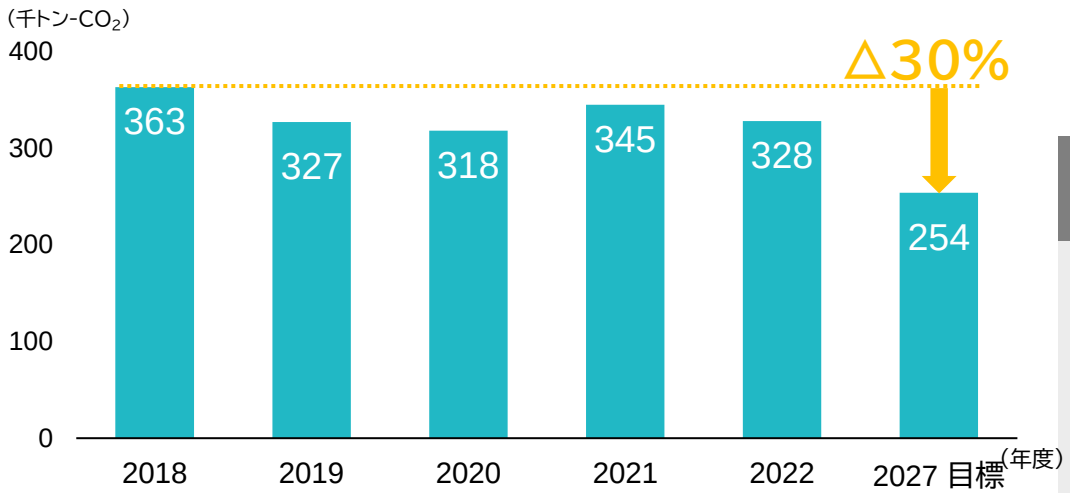
当社グループの最重要課題

コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスの強化

GHG排出量の削減

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、従来の取り組みに加え、生産技術の改善や再生エネルギー導入などに注力する
- 2021年度のGHG排出量は、2020年度比で27千トン-CO_2増加

（増加要因）
・アンモニア系製品の生産量増加により、製造時のCO_2排出量、天然ガス使用量、電力使用量の増加
・硝酸製品の生産量増加により、製造時のN_2O排出量の増加
・富山共同自家発電の工事（水力発電供給減少）により、非再生可能電力の使用量増加



中期経営計画 Vista2027（2022-2027年度）における取り組み

- 硝酸プラントからのN_2O排出ゼロ（予定投資額 500百万円　変動費50百万円/年）
- メラミン製造中止
- 小野田工場燃料転換
- ICP本格導入によるGHG排出削減推進
- フロン機器の削減
- 省エネ機器への更新

他社とのGHG排出量の比較

（千トン-CO_2）

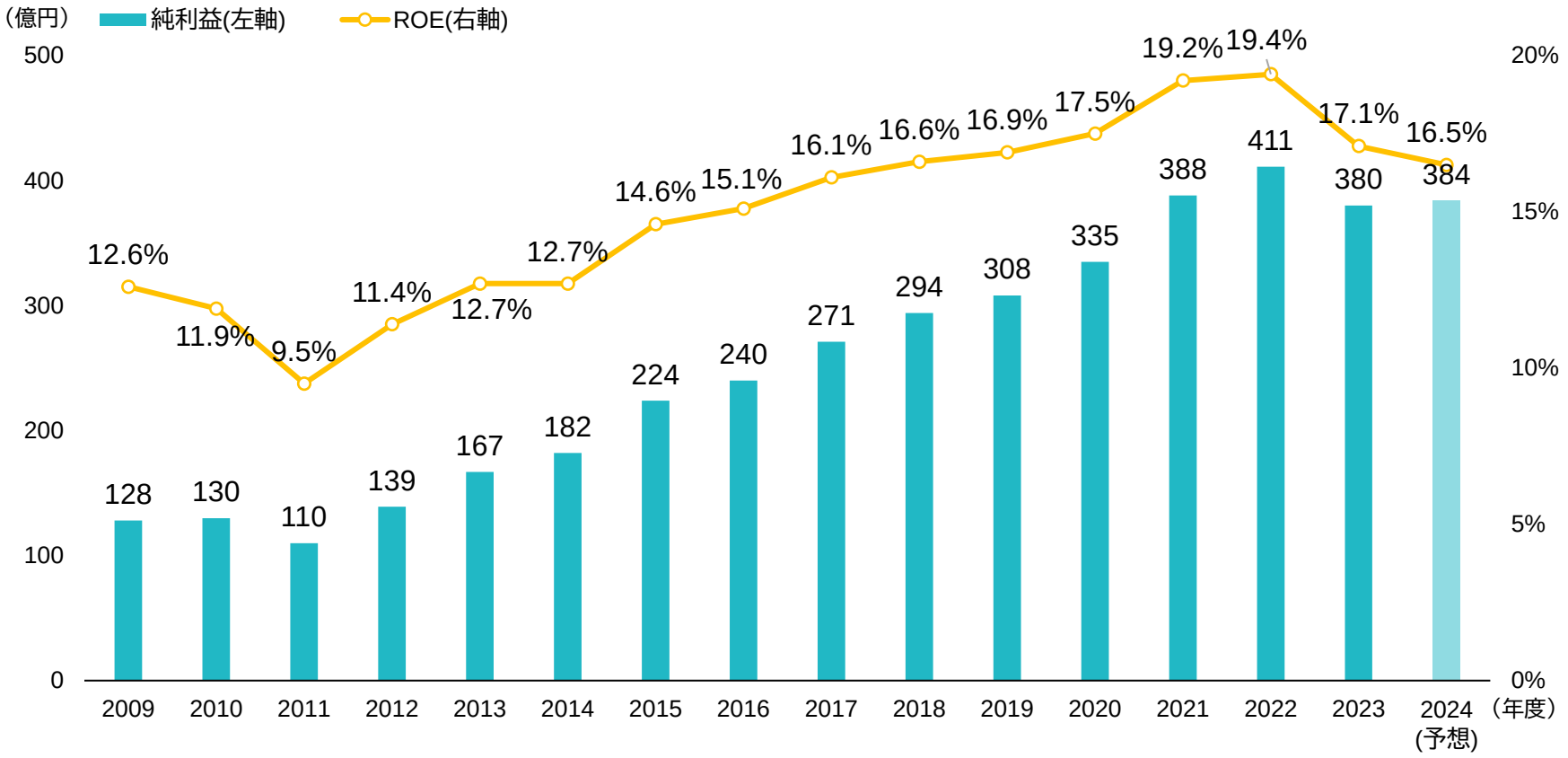
年度	2011	2018	2019	2020	2021
日産化学	448	363	327	318	345
大手総合化学4社平均（単体ベース）	-	-	5,845	5,581	-

Contents

01	2023年度通期 連結決算報告	P3
02	2024年度通期 業績予想	P8
03	セグメント概況	P16
04	2024年度中期経営計画との比較	P48
05	ESGトピックス	P51
06	参考資料	P56

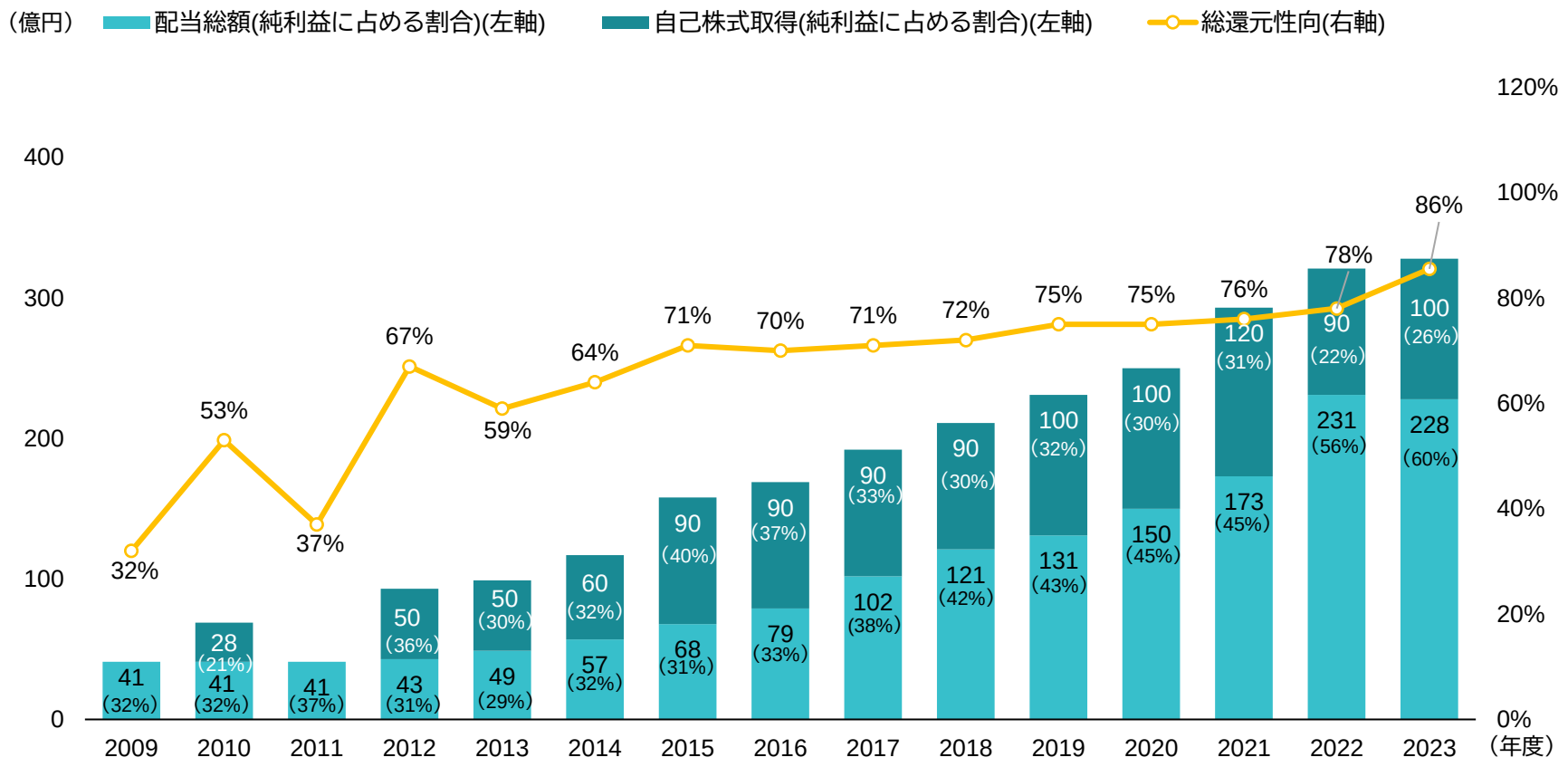
ROEの推移

- ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- 前中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持を目標に掲げ、達成
- 新中期経営計画(2022-2027年度)では18%以上維持が目標
- 2023年度実績は17.1%



株主還元　総還元性向

- 前中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標で、全て達成
- 新中期経営計画(2022-2027年度)では75%が目標(2023年度実績は86.2%)



株主還元　自己株式取得

Nissan Chemical CORPORATION

ROE向上を目的に2006年度より開始。2006-23年度取得総額1,235億円、4,777万株（取得開始前発行済株式の25.5%）。取得株はすべて消却済。今後も自己株式を継続的に取得し、株主還元を強化
2024年5月に自己株式取得50億円を発表

2006-2023年度　自己株式取得実績（2009年度、2011年度は自己株式取得なし）

年度	2006	2007	2008	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計
自己株式取得総数（千株）※1	3,500	3,399	7,355	2,167	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	2,138	1,829	2,033	1,356	1,665	47,769
取得価額総額（億円）※1	47	50	80	28	50	50	60	90	90	90	90	100	100	120	90	100	1,235
自己株式消却総数（千株）	3,000	3,635	7,000	3,000	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	3,000	1,000	2,000	1,700	2,500	48,835
発行済株式総数（百万株）	185	181	174	171	165	161	158	156	154	151	149	146	145	143	141	139	-
期末自己株式数（千株）※2	1,367	1,233	1,660	885	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	523	1,352	1,384	1,029	187	-
株主総還元性向（配当＋ 自己株式取得）（%）	60	56	118	53	67	59	64	71	70	71	72	75	75	76	78	86	-

2019-2024年度　自己株式取得・消却状況

年度	2019			2020			2021			2022			2023※3			2024
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期
自己株式取得総数（千株）※1	1,270	868	2,138	1,334	495	1,829	1,262	771	2,033	683	673	1,356	805	860	1,665	1,250（上限）
取得価額総額（億円）※1	60	40	100	70	30	100	70	50	120	50	40	90	50	50	100	50（上限）
自己株式消却総数（千株）※3	2,000	1,000	3,000	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	1,700	0	1,700	1,500	1,000	2,500	-

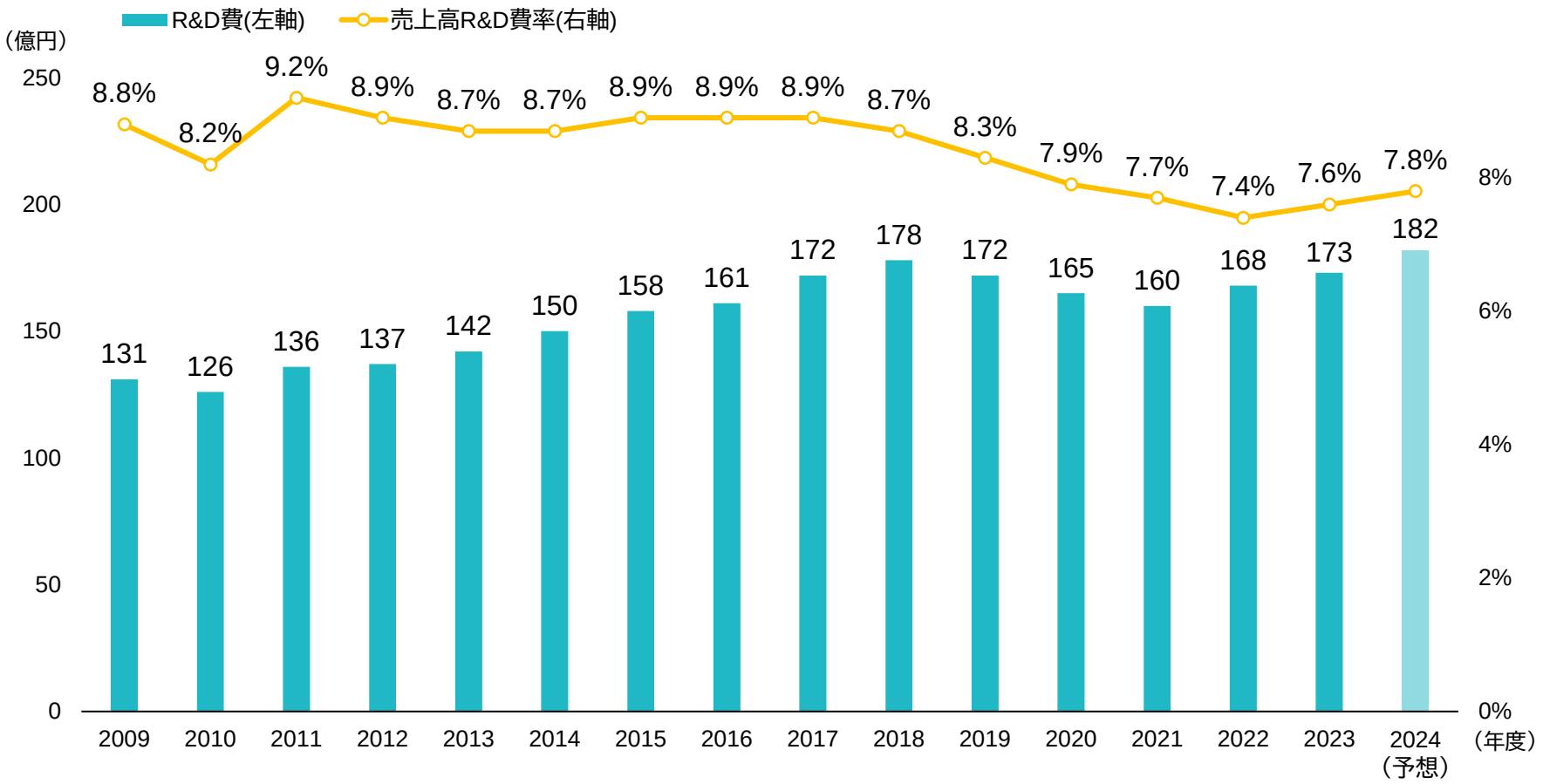
※1　単元未満株式買取、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得を除く　※2　単元未満株式、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得を含む
※3　2023年度の自己株消却は、2023年5月12日、8月10日、および2024年3月13日消却分

キャッシュマネジメント（単体ベース）

目標現預金残高水準 ＝ 必要下限額 ＋ 流動性リスク対応［1/3×（長期借入金年間返済予定額 ＋ 短期借入残）］＋ 偶発リスク対応

研究開発費の推移

- 独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業として、研究開発を重視
- 売上高研究開発費率は7-9%と高水準を維持
- 2020-2021年度はコロナ禍で一時的にR&D費用減



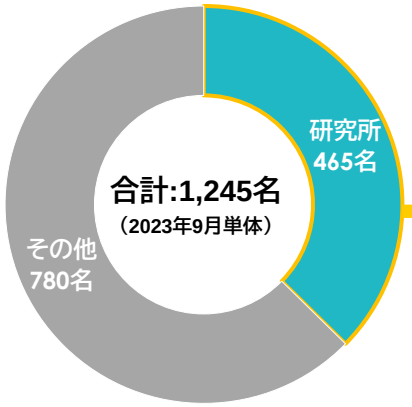
研究開発投資の考え方

- R&Dに多額の投資を行ってもなお、会社全体で高い営業利益率を確保
- 総合職の約40%は研究開発に関わる人材

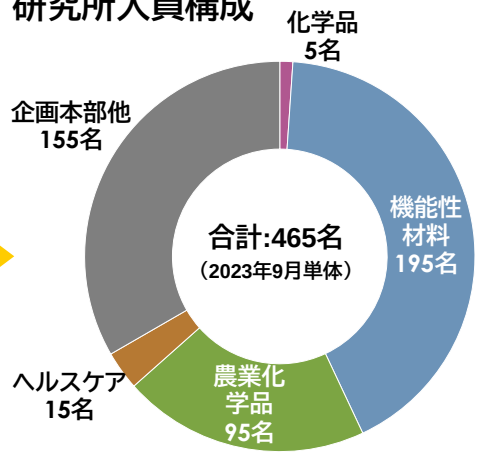
セグメント別研究開発費

セグメント	2023年度 実績				
	売上高（億円）	営業利益（億円）	売上高営業利益率	R&D費（億円）	売上高R&D費率
化学品	356	0	0.1%	3	0.8%
機能性材料	846	225	26.6%	82	9.7%
農業化学品	821	234	28.5%	43	5.2%
ヘルスケア	63	28	44.4%	4	6.3%
企画本部他	-	-	-	41	-
合計（企画本部他含む）	2,267	482	21.3%	173	7.6%

総合職　人員構成



セグメント別　研究所人員構成



※　表記している人数は概数

長期業績推移

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024（予想）
売上高	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,080	2,281	2,267	2,341
営業利益	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	510	523	482	500
経常利益	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	439	537	558	516	505
純利益	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	335	388	411	380	384
EBITDA	316	305	345	276	301	303	259	291	308	338	383	403	455	480	492	530	612	633	620	656
売上高営業利益率	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.5%	22.9%	21.3%	21.4%
ROE	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	17.5%	19.2%	19.4%	17.1%	16.5%
EPS(円／株)	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	231.73	271.88	291.36	272.82	278.67
配当(円／株)	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	104	122	164	164	164
配当性向	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	44.9%	44.9%	56.3%	60.1%	58.9%
自己株式取得	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	100	120	90	100	-
総資産	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	2,655	2,797	2,987	3,235	-
純資産	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	2,006	2,080	2,215	2,309	-
現預金	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	324	347	296	227	-
有利子負債	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	227	227	273	410	-
自己資本比率	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	74.9%	73.6%	73.1%	70.3%	-
設備投資	110	77	138	107	144	87	89	81	91	87	95	135	144	99	155	143	124	194	202	221
減価償却費	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	104	102	110	138	156
R&D	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	165	160	168	173	182
同　売上高比率	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	7.7%	7.4%	7.6%	7.8%

※ 2021- ：会計方針の変更影響を含む(p66参照)
※ 設備投資：キャッシュ・フローベース

セグメント別売上高・営業利益推移

Nissan Chemical CORPORATION

売上高(A)

(億円)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024(予想)
化学品	345	355	343	343	348	349	357	343	319	376	390	356	377
機能性材料	374	428	494	518	528	588	630	655	716	817	826	846	919
農業化学品	354	391	457	475	520	581	627	640	638	658	816	821	849
ヘルスケア	127	116	88	87	80	75	70	70	67	66	67	63	64
卸売	466	507	544	556	552	595	679	679	698	804	991	1,038	1,041
その他	212	214	209	209	240	215	246	224	238	236	264	301	287
調整額	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-585	-877	-1,073	-1,158	-1,196
合計	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,080	2,281	2,267	2,341

営業利益(B)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024(予想)
化学品	19	19	19	39	38	34	30	13	15	38	14	0	6
機能性材料	72	88	120	120	125	142	150	170	224	276	254	225	244
農業化学品	50	62	92	108	132	164	184	193	182	181	231	234	241
ヘルスケア	52	49	23	20	17	12	10	9	4	28	30	28	23
卸売	14	15	17	18	17	18	20	21	25	29	37	37	32
その他	7	8	6	5	10	6	9	7	8	7	9	6	7
調整額	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-33	-49	-52	-48	-53
合計	195	222	253	286	314	350	371	386	425	510	523	482	500

セグメント資産(2023年度)(D)

化学品	332
機能性材料	706
農業化学品	1,195
ヘルスケア	86
卸売	400
その他	211
調整額	305
合計	3,235

営業利益率(B)/(A)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024(予想)
化学品	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	4.7%	10.1%	3.6%	0.1%	1.6%
機能性材料	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	31.3%	33.8%	30.8%	26.6%	26.6%
農業化学品	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.5%	27.5%	28.3%	28.5%	28.4%
ヘルスケア	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	6.0%	42.4%	44.8%	44.4%	35.9%
卸売	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.6%	3.6%	3.7%	3.6%	3.1%
その他	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	3.4%	3.0%	3.4%	2.0%	2.4%
合計	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.5%	22.9%	21.3%	21.4%

ROA(2023年度)(B)/(D)

化学品	0.2%
機能性材料	31.9%
農業化学品	19.6%
ヘルスケア	32.6%
卸売	9.3%
その他	2.8%
合計	14.9%

※ 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む
※ 2021- :会計方針の変更による売上高減少を含む(p66参照)
※ 卸売: 日星産業、その他: 日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・日本肥糧ほか、調整額: 企画本部ほか
※ 企画本部の2021年度～2023年度実績値、2024年度予想数値はp49参照
※ 2022年4月に組織改定を実施。2020年度実績までは旧セグメント区分、2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p67参照)

※ 2019- : 新方式セグメント別営業利益
1. 2020年度より変更(売上高は変更なし)
2. 2019年度は遡及して再計算
3. 連結調整(固定資産未実現利益、棚卸資産未実現利益など)は、旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理

セグメント別売上高　四半期推移（2021年度～2024年度業績予想）

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

	2021年度 実績					2022年度 実績					2023年度 実績					2024年度 業績予想				2023年度 予想（2023年11月発表）
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	下期	年間	年間
化学品	88	83	105	100	376	104	94	101	91	390	91	88	96	81	356	91	90	196	377	386
ファインケミカル	32	30	37	32	131	42	35	33	28	138	30	30	30	26	116	31	30	61	122	132
基礎化学品	56	53	68	68	245	62	59	68	63	252	61	58	66	55	240	60	60	135	255	254
機能性材料	200	196	209	212	817	218	202	206	200	826	208	197	214	227	846	221	226	472	919	845
農業化学品	134	116	119	289	658	197	160	131	328	816	188	165	132	336	821	199	169	481	849	840
ヘルスケア	11	22	20	13	66	17	15	16	19	67	20	15	13	15	63	18	12	34	64	59
ヘルスケア	6	8	5	6	25	8	6	4	6	24	6	7	6	4	23	3	5	11	19	22
ファインテック	4	15	14	8	41	8	10	12	13	43	13	9	7	10	40	15	7	23	45	38
卸売	178	186	222	218	804	237	240	270	244	991	243	245	283	267	1,038	241	262	538	1,041	1,009
その他	49	55	61	71	236	65	59	67	73	264	64	59	60	118	301	62	62	163	287	305
調整額	-195	-205	-241	-236	-877	-255	-258	-294	-266	-1,073	-265	-261	-302	-330	-1,158	-270	-287	-639	-1,196	-1,169
合計	465	453	495	667	2,080	583	512	497	689	2,281	549	508	496	714	2,267	562	534	1,245	2,341	2,275

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む
※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある
※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか
※ 企画本部の2021年度～2023年度実績値、2024年度予想数値はp49参照
※ 2022年4月に組織改定を実施。2021年度実績は旧セグメント区分変更後の数値に置き換え済み（p67参照）

セグメント別営業利益　四半期推移（2021年度～2024年度業績予想）

Nissan Chemical CORPORATION

（億円）

	2021年度 実績					2022年度 実績					2023年度 実績					2024年度 業績予想				2023年度 予想（2023年11月発表）
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	下期	年間	年間
化学品	13	-1	13	13	38	17	-6	4	-1	14	9	-10	4	-3	0	-1	-1	8	6	8
機能性材料	69	62	76	69	276	79	60	69	46	254	65	46	63	51	225	55	68	121	244	233
農業化学品	40	29	30	82	181	68	53	31	79	231	66	50	29	89	234	70	54	117	241	233
ヘルスケア	3	11	9	5	28	8	7	6	9	30	11	7	5	5	28	6	3	14	23	26
ヘルスケア	2	3	2	2	8	4	2	1	2	9	3	3	2	2	9	1	1	3	5	8
ファインテック	1	8	8	3	20	4	5	6	7	21	8	4	3	4	19	6	2	11	18	18
卸売	7	6	9	7	29	10	9	10	8	37	9	9	10	9	37	7	8	17	32	33
その他	1	-1	2	5	7	1	0	2	6	9	2	0	-3	7	6	0	0	7	7	9
調整額	-14	-12	-13	-10	-49	-10	-14	-16	-12	-52	-12	-11	-15	-10	-48	-18	-11	-24	-53	-56
合計	119	94	126	171	510	173	109	106	135	523	150	91	93	148	482	119	121	260	500	486

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある
※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか
※ 企画本部の2021年度～2023年度実績値、2024年度予想数値はp49参照
※ 2022年4月に組織改定を実施。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み（p67参照）

会計方針の変更（2021年度～）

Nissan Chemical CORPORATION

2021年度より会計方針を変更。本ページは2022年5月発表 2021年度決算説明資料から変更なし

1. 方針の変更
「収益認識に関する会計基準（企業会計基準29号）」を適用
2. 適用時期　2021年4月1日より
3. 方針変更に伴うPL、BSへの主な影響

2021年度のPLへの影響額（前年同期比）

（億円）

	2021実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高の増減※1	-35	-74	-109	-17	-103	-120	-229
営業利益の増減※2	+12	-21	-9	+40	-32	+8	-1

※1 （1）代理人取引、（2）売上高を基礎としたロイヤリティ収入、（3）変動対価、の影響合計
※2 （2）売上高を基礎としたロイヤリティ収入、（3）変動対価、の影響合計

（1）代理人取引

主たる適用セグメント	化学品、農業化学品、卸売
適用後	売上総利益額見合の売上高のみ表示（適用前は売上高、売上原価を総額で表示）
2021年度PLへの影響額	■ 売上高、売上原価がそれぞれ228億円減少、営業利益には影響せず ■ 各セグメントの売上高には影響させず、「調整額」で控除

（2）売上高を基礎としたロイヤリティ収入

主たる適用セグメント	農業化学品（動物薬ロイヤリティ収入）
適用前（2020年度まで）	MSD社※ 1-6月売上高見合を8月、7-12月売上高見合を翌年2月に計上
適用後（2021年度より）	MSD社※ 1-3月売上高見合を5月、4-6月売上高見合を8月、7-9月売上高見合を11月、10-12月売上高見合を翌年2月に計上

※ MSD社:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

（3）変動対価（販売時点では変動する可能性のある売上値引など）

主たる適用セグメント	農業化学品
適用後	■ 売上期間に応じて見積もり計上（適用前は金額確定時に計上） ■ 適用前に比べ、値引額は1Q増加（マイナス影響）、2Q減少、上期増加、下期減少、年間ほぼなし、の傾向
2021年度BSへの影響額	2021年度期首利益剰余金（BS項目）が2020年度の遡及修正で15億円減少（税効果反映後）
適用前（2020年度）	2020農年（2019年10月-2020年9月）の売上見合い値引きのみ計上
適用後（2020年度）	上記に加え、2020年10月-2021年3月の売上見合い値引き15億円追加計上

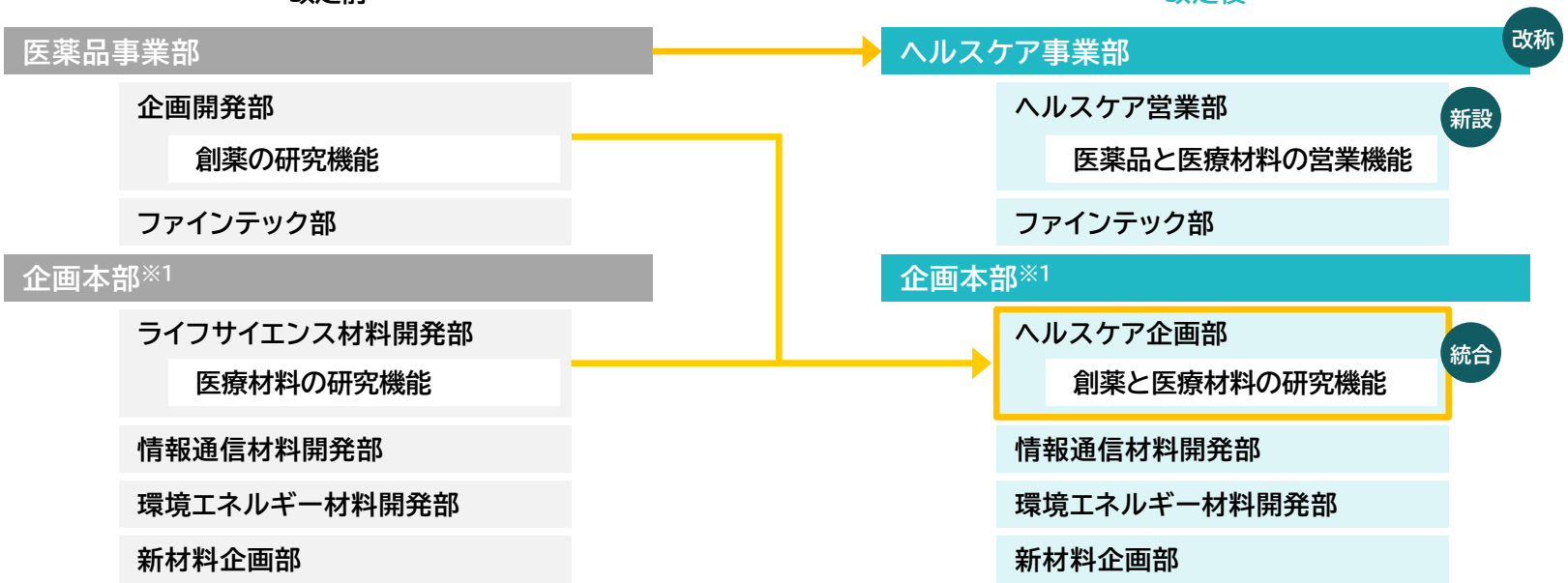
組織改定

Nissan Chemical CORPORATION

事業環境の変化を適切にとらえながら中長期的な成長を実現していくため、2022年4月1日付で以下の組織改定を実施（2022年8月発表 2022年度1Q決算説明資料から変更なし）

医薬品事業部および企画本部※1ライフサイエンス材料開発部の組織改定

目的 創薬・医療材料の機能統合（研究機能を企画本部※1。営業機能をヘルスケア事業部）



※1 企画本部は、セグメントでは「調整額」に含まれる。
企画本部の2021年度～2023年度実績および2024年度予想、2027年度中期経営計画の売上高・営業利益はp49参照

主要製品用途一覧

Nissan Chemical CORPORATION

セグメント	製品名		主用途
化学品	ファインケミカル	テピック	エポキシ樹脂： ソルダーレジストインク材料、LED封止材等、粉体塗料硬化剤
		メラミンシアヌレート	難燃剤
		環境化学品	プール、浄化槽用殺菌消毒剤
		ファインオキソコール	化粧品原料、潤滑油原料、電子材料用接着剤原料
	基礎化学品	メラミン（22年12月販売終了）	接着剤
		アドブルー®	ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水
		高純度硫酸	半導体用洗浄剤
		アンモニア、硫酸、硝酸、尿素	
機能性材料	ディスプレイ	サンエバー	液晶配向材用ポリイミド
		（主要モード）VA	Vertical Alignment: テレビ
		IPS	In-Plane Switching: スマートフォン、タブレット、PC、モニター、車載
	半導体	ARC®（KrF、ArF）	半導体用反射防止コーティング材
		多層材料（OptiStack®）	半導体用多層プロセス材料（Si-HM、SOC）
		EUV材料	EUVプロセス材料（下層膜、Si-HM）
	無機コロイド	スノーテックス	コロイダルシリカ： 研磨剤（シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等）、特殊鋼板
		オルガノゾル・モノマーゾル	有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤
		オイル＆ガス材料	シェールオイル・ガス採掘効率向上材
農業化学品	除草剤	タルガ	大豆、なたね、てんさい
		パーミット	とうもろこし、さとうきび、稲
		ラウンドアップ	非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園
		アルテア	稲
	殺虫剤	グレーシア	野菜、茶
	殺菌剤	ライメイ	ばれいしょ、野菜、ブドウ
		ダイセン（マンゼブ）	果樹、野菜
	動物医薬品	フルララネル	ペット用外部寄生虫薬BRAVECTO®、鶏・牛・羊用EXZOLT®原薬
ヘルスケア		リバロ原薬	高コレステロール血症治療薬
		ファインテック	課題解決型受託事業およびジェネリック製品開発

※ アドブルー®はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標　※ ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標
※ BRAVECTO®およびEXZOLT®はMSD の登録商標

免責事項・著作権

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いします。

本決算説明資料に掲載されている全てのコンテンツは、日産化学株式会社が所有しています。

Nissan Chemical CORPORATION